

シニア海外ボランティア

平成22年度春 分野別要請集

平成22年4月

No.2

農林水産

《 閲 覧 資 料 》

独立行政法人国際協力機構

青年海外協力隊事務局

J/
333.9
SE
22-1

15308



平成22年度SV春募集 分野別要請一覧

3. 農林水産

要請番号	指導科目	国名	頁
農林水産(41件)			
SL04810C10	農学	ブータン	1
SL32410C11	育種(大豆)	パラグアイ	2
SL32410C14	大豆育種	パラグアイ	3
SL33310C03	園芸作物生産販売	ウルグアイ	4
SL30310C07	花き資源の育種	アルゼンチン	5
SL30310C09	花き栽培	アルゼンチン	6
SL33310C01	園芸	ウルグアイ	7
SL31510C09	野菜栽培	コロンビア	8
SL31510C10	生産・消費・販売	コロンビア	9
SL04810C09	果樹栽培	ブータン	10
SL32410C09	果樹栽培	パラグアイ	11
SL06010C16	きのこ栽培	ネパール	12
SL25110C05	病虫害防除	パナマ	13
SL31810C01	病虫害対策	エクアドル	14
SL32410C15	病害防除	パラグアイ	15
SL46910C03	病虫害対策	モロッコ	16
SL32410C12	土壌分析	パラグアイ	17
SL06010C02	協同組合運営指導	ネパール	18
SL06010C07	協同組合研修・活動促進	ネパール	19
SL11510C04	農業政策	ミクロネシア	20
SL02710C04	地域開発指導	ベトナム	21
SL32410C10	生活改善	パラグアイ	22
SL32410C02	有機農業	パラグアイ	23
SL63010C02	灌漑計画・工事	モザンビーク	24
SL30310C06	農業機械試験・規格化	アルゼンチン	25
SL06010C04	凍結精液製造	ネパール	26
SL46910C02	分子遺伝学	モロッコ	27
SL02410C02	家畜疾病診断	ラオス	28
SL02710C01	家畜衛生・飼養管理	ベトナム	29
SL04510C09	家畜非感染症	モンゴル	30
SL04510C10	家畜用ワクチン生産	モンゴル	31

要請番号	指導科目	国名	頁
SL30610C06	ウイルス学	ボリビア	32
SL10610C01	水産物流通改善	フィジー	33
SL22710C01	零細漁村開発	エルサルバドル	34
SL00610C05	水産教育	インドネシア	35
SL47510C12	漁業計器操作	チュニジア	36
SL47510C13	漁船機器保守(ケルビア)	チュニジア	37
SL47510C14	漁船機器保守(スファックス)	チュニジア	38
SL63010C04	漁船運用技術	モザンビーク	39
SL30310C08	サケマス類の魚病	アルゼンチン	40
SL10610C04	水産物加工	フィジー	41

平成 22 年度春 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 2 月 8 日

要請番号(SL 048 - 10- C - 10)

調査者名: 柴崎栄司

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ブータン	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001)	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 農学			1	22 / 3	年 月 から
	職種(英) Food Crops & Rice Culture			2	/	
指導科目(英) Agronomy	3	/				

プログラム番号・名 0480000000013 プロジェクト名 農業技術開発・普及プログラム

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 農業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture
	2)配属先名 (日本語) バジョー自然資源研究センター (英語) Renuable Natural Resource Reserch Center, Bajo
	3)任地 バジョー 首都(ティンブー)から 東 方向 70 Km 主要都市(ウォンディ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農畜林業振興調査研究組織として全国に4ヶ所設けられているセンターの一つ。同所は穀類研究推進において統括中心として他の3ヶ所をリードしている。地域農畜林業振興活動としてウォンディー県を中心とする5県にて普及員活動と技術支援している。換金作物の増産が緊急課題となっており、同配属先の果たす役割は大きい。年間予算は約4,000万円、スイス、カナダ、UNDPからの援助あり。前任SVが2010年1月まで派遣。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 穀類には穀物、大豆等の豆類そして油料作物が含まれて多岐に亘っている。従って、前任SVは主食である米作に焦点を絞り、個々の栽培技術の改善・問題点の解決手段の多様性思考・日本品種その他の導入・穀類生産振興そのものの政策立案・実行・支援環境作りに関する提言作成に注力してきた。農業生産はこの様に多岐に亘る分野が関係している総合科学であり、センターの活動をより効率的に進める手段として分野横断的な作物全般についての作物研究ユニットなる研究構想が生まれ、作物全般の研究の助言、推進、技術指導が必要であると言うことから今回の申請となった。
	2)期待される具体的業務内容 ・農民の視点に立った作物全般の研究ユニットの創設をする。 ・他の研究者と共同で作物研究テーマの選択・優先順位の付与を行う。 ・スタッフに対する試験のデザイン・実施・データ解析などのトレーニングを行う。 ・前任SVが、米、大豆、トウモロコシ、そば、小麦、からし菜、雑穀類の試験栽培ならびに水田多年生雑草ヒルムシロの簡易防除法(レーキ、レンゲ・ヘアリーベッチによる個体数抑制、除草剤)のリサーチ等を実施している。これらの研究の一部を引き続き担当する。
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 専用事務スペース、インターネット・コンピューター、恒温槽、電子天秤 など一般実験器具

4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 植物防疫及び自然資源マネージメント専攻2名 実務経験10年以上 男性 農業専攻1名 実務経験 12年以上 男性	5)業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ (レベル:)
---	-------------------------------------	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由: 学歴理由: 作物全般に亘っての知識を必要とするため 経験理由: 農学関係の教職・研究職の経験が必須 理由: 理由:
	・学歴 大卒 農学 ・経験 実務経験 10年以上	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概 況	気候(亜熱帯) 気温(10 ~ 35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)
--------	---



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 22 年 2 月 4 日

要請番号(SL 324 - 10 - C - 11)

調査者名:澤田 和宏

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
パラグアイ	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001)	○新規 ●交替 2 代目	●2 年 ○1 年 ○ヶ月	1	22 / 3
	指導科目 育種(大豆)			2	22 / 4
	職種(英) Food Crops & Rice Culture 指導科目(英) Breeding			3	/
				年 月 から	

プログラム番号・名 3240000000010 プロジェクト名 小農自立化支援

1) 受入省庁名(日本語) 農牧省
(受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Stock Raising

2) 配属先名 (日本語) 地域農業研究センター
(英語) Regional Agricultural Investigation Center

3) 任地 イタプア県カピタン・ミランダ市
首都(アスンシオン)から 南東 方向 450 Km
主要都市(エンカルナシオン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.3 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
1980年前半のJICA南部パラグアイ農林業開発計画で開設された地域農業研究センターでは、1990年から主要穀物生産強化プロジェクト(～1997年)を実施し、大豆・小麦に関する育種、栽培、土壌の研究体制及び種子生産体制の強化に協力してきた。さらに2006年から2008年2月まで、大豆さび病抵抗性品種の育成プロジェクトが実施された。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
1990年から地域農業研究センターでは、JICA技術協力プロジェクト「主要穀物生産強化プロジェクト」を経て、大豆・小麦に関する育種、栽培、土壌肥料の分野で技術支援が行われてきており、パラグアイ農業生産に大きな成果を残すに至った。現在SVが活動を継続し評価は高いものの、2年間という任期は育種という職種の性格からすると非常に短いものであり、現SVの活動期間だけでは更なる成果に結びつける事は困難であることから、引き続き支援を必要としている。

2) 期待される具体的業務内容
期待される具体的業務内容
1. 育種素材の収集・評価及び生態分類の実施。
2. 主要病害虫抵抗性育種研究の継続(大豆シストセンチュウ、墨腐れ病など)
3. 大豆育種事業全般の継続

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
パソコン、複写機、PHメーター、乾熱滅菌器、電気泳動装置、トランスイルミネーター、クリーンベンチ、超低温フリーザー、電子天秤、その他ガラス器具一式

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
カウンターパート: 育種課長、男性、大卒(農学)、40歳半
スタッフ: 大卒(農学)2名

5) 業務使用言語
● スペイン語
()
○ その他
()

6) 選考指定言語
☑ 英語 (レベル: B)
□ (レベル:)

条件(資格、免許、性別)及びその理由

・学歴 大卒 農学
・大豆育種経験10年以上

性別理由:
学歴理由: 同僚も同等以上の学歴である
経験理由: 同僚も同等以上の経験を有するため
理由: 大豆に係る深い専門性が求められる
理由:

活動用交通手段の必要性 研修等 形態 現職教員特別参加制度

○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(亜熱帯) 気温(0~40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 春 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 22 年 2 月 4 日

要請番号(SL 324 - 10- C- 14)		調査者名:長谷川 辰雄				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
パラグアイ	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001)	● 新規 ○ 交替 1 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 大豆育種			1	22 / 3	年 月 から
	職種(英) Food Crops & Rice Culture			2	22 / 4	
指導科目(英) Improvement Genetics soybean	3	/				

プログラム番号・名 3240000000010 プロジェクト名 小農自立化支援

1) 受入省庁名(日本語) 農牧省
 (受入機関名)(英語) Department of agriculture and livestock

2) 配属先名 (日本語) パラグアイ農業総合試験場(CETAPAR)
 (英語) Paraguay Agriculture and Livestock Technology Center

3) 任地 アルトパラナ県イグアス市
 首都(アスンシオン)から 東 方向 280 Km
 主要都市(アスンシオン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 1962年にパラグアイ各地に入植した日本人移住者の営農の安定と振興を図るために開設されたJICA直営の試験農場は、その後統合され現在のCETAPARとなり、日系人農家に限らず地域農家を対象とした技術支援活動を展開してきた。2000年からは地域農業振興を目標に掲げ、技術協力プロジェクトが実施されており、2010年4月にJICAから日系農協中央会へと移管される予定である。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 パラグアイの基幹産業である農業において、主な生産物である大豆は輸出向けに生産されており、パラグアイは世界第4位の大豆輸出国である。近年、特に食用大豆(非遺伝子組換え大豆)の需要は増大しており、日系農業協同組合は日本から多数の引き合いを受けている。これに対し、日系農業協同組合は、市場のニーズに合致した大豆を安定供給し、輸出事業を更に発展させたいと考えている。現在、CETAPARでは、食用大豆ならびに遺伝子組換え大豆の育種を取組んでおり、さらなる品質や収量の向上を目的として、ボランティアの要請につながった。

2) 期待される具体的業務内容
 実施中の育種業務に基づいて、下記の事項をスタッフとともに取組みながら技術指導を行う。
 1. 栽培適性、品質、多収性、耐病性を重視した育種材料の調査・選定
 2. 交配計画
 3. 選抜方法(調査方法含む)
 4. 効率的な世代促進方法

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 試験播種機、乾燥機、種子保管用冷蔵庫・フリーザー、水分測定器、種子カウンター等。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 大豆育種の担当スタッフ(男性2名-30歳代)、大学農学部卒、うち1名本邦技術研修(土壌分析)経験有り。他に補助員2名。	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: C) □ (レベル:)
---	--------------------------------------	---

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
 学歴理由:
 経験理由:
 理由:
 理由:

・経験 実務経験 10年以上

活動用交通手段の必要性 研修等 形態 現職教員特別参加制度

○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(亜熱帯) 気温(0~40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 22 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 12 月 31 日

要請番号(SL 333 - 10- C - 03)

調査者名:長谷川弘美

国名	職種/指導科目 (コード 1001)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ウルグアイ	職種 食用作物・稲作栽培	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 3
	指導科目 園芸作物生産販売			2	22 / 4
	職種(英) Food Crops & Rice Culture 指導科目(英) Food & Flower Production			3	/
				年 月 日	から

プログラム番号・名 3338888888888 プロジェクト名
 格差是正(職業・技術教育)

1) 受入省庁名(日本語) 大統領府予算企画庁
 (受入機関名)(英語) Government House , Budget and Planning Office

2) 配属先名 (日本語) 【NGO】7月18日推進活動
 (英語) Promotion Action 18 In July

3) 任地 モンテビデオ
 首都(モンテビデオ)から 北 方向 10 Km
 主要都市(モンテビデオ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 7月18日推進活動は、1966年モンテビデオ市内の貧困地区に発足したNGOである。学校に通っていない青少年に学校教育を提供し、雇用の機会を増やすために各種コースを開設している。また、モンテビデオ市の清掃作業を請け負い青少年に労働の機会を提供している。2009年に日本大使館の草の根無償資金協力により「緑の学校」の建物が完成した。ここで、園芸作物のコースを開始している。年間予算は約1億円。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 「緑の学校」の建物が完成し、園芸作物コース(造園学、剪定および有機菜園)が開始した。現在、2代目ボランティアがこのコースの講師として活動中である。60名の青少年に対し、有機菜園での栽培から生産、販売までの手法を教え、仕事につけるよう青少年の育成に携わっている。引き続き、同コースの支援が必要であることから、要請が上がった。

2) 期待される具体的業務内容
 1. 「緑の学校」園芸作物コースの講師として学生に指導する。
 2. 「緑の学校」園芸コースのコースデザインの構築
 3. 花卉や野菜の生産技術の普及から、マーケティング、梱包、運送、販売に関し、調査を行い、助言する。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 鎌、スコップ、農業に必要な道具、ビニールハウス、1tトラック、鋤、耕運機

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 統括責任者 男性 30代後半
 花卉生産責任者 50代
 青少年 60名

5) 業務使用言語
 ● スペイン語
 ()
 ○ ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル: B)
 スペイン語 (レベル: B)

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由
 性別理由:
 学歴理由:
 経験理由: コース講師として活動するため
 理由:
 理由:
 ・経験 実務経験 15年以上

活動用交通手段の必要性
 有 無 車輦 単車 自転車

研修等 形態 現職教員特別参加制度

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(温暖) 気温(3-34℃位) 電気(安定 不安定 なし)
 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(安定 不安定 なし)

平成 22 年度 春 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 21 年 7 月 8 日

要請番号(SL 303 - 10- C - 07)

調査者名: 山本 パトリシア

国名	職種/指導科目 (コード 1002)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
アルゼン チン	職種 花き栽培	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 4
	指導科目 花き資源の育種			2	/
	職種(英) Flower Growing 指導科目(英) Breeding of Ornamental Resources			3	/

プログラム番号・名: 自然資源保護プログラム
プロジェクト名:

1) 受入省庁名(日本語) 国立農牧技術院(INTA)
(受入機関名)(英語) National Institute of Agricultural Technology (INTA)

2) 配属先名 (日本語) 花き研究所
(英語) Floriculture Institute

3) 任地 プエノスアイレス州カステラル市
首都(プエノスアイレス市)から 北西 方向 30 Km
主要都市(プエノスアイレス市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
天然資源と環境を保全しながら地域の産業開発に関する農牧業の研究開発・人材育成活動と共に、生産者への普及業務を実施している。花き研究所ではこれまで花き栽培の研究と普及活動に加えて1999年より在来観賞植物の育種を開始し、伝統的な育種とバ イテクノロジーを用いた育種を行っており、幾つかの花き品種を国内で登記した。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
本研究所は1977年に花き農家への技術支援を目的として設立したJICA直営試験場を2004年に国立農牧技術院に移管した施設である。
本研究所ではJICAの技術支援の基で在来花き素材の探索・収集・評価及び育種の技術支援を行い、現在は亜国政府の研究機関として本分野における研究と普及を独自で実施している。しかし、花き産業の持続的な発展を図るためには、高塩・干ばつなどの環境ストレスに優れた品種の育成技術に欠けており、本環境ストレスの耐性を含む新たな品種を創出することを目的とした人材育成が不可欠であることから本SVの要請が提出あった。

2) 期待される具体的業務内容

- 耐乾性・耐塩性を有する花き品種の育種に関する研究計画の立案
- 実験の設計に関連する技術指導
- セミナー、研修・ワークショップなどの開催
- 新たな研究プロジェクトの立案への助言

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
温室 (21棟)、培養土の実験室、成長点培養用実験室、分子培養実験室、顕微鏡室等

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 花き研究所のスタッフは39名のうち、17名が技術者。本分野に関係するスタッフは30~40代の男女5名	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ スペイン語 (レベル: C)
--	---	--

条件(資格、免許、性別)及びその理由

資格条件

- ・学歴 博士 農学
- ・経験 実務経験 15年以上
- ・花き育種経験
- ・耐乾・耐塩性育種研究

性別理由:
学歴理由:
経験理由:
理由:
理由:

活動用交通手段の必要性

○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車

研修等 形態 現職教員特別参加制度

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域 気候(温帯) 気温(5 ~ 30 °C位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 22 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 1 月 4 日

要請番号(SL 303 - 10 - C - 09)

調査者名: 山本 パトリシア

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
アルゼンチン	職種 花き栽培 (コード 1002)	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 4
	指導科目 花き栽培			2	/
	職種(英) Flower Growing			3	/
	指導科目(英) Cultivation of ornamental flowers				年 月 から

プログラム番号・名 地域経済活性化 プロジェクト名 切花栽培

1) 受入省庁名(日本語) コリエンテス州生産、労働観光省
(受入機関名)(英語) Ministry of Production, Labour and Tourism, Province of Corrientes

2) 配属先名 (日本語) コリエンテス州生産技術センター
(英語) Center of Production Technologies (CETEPRO)

3) 任地 コリエンテス州コリエンテス市
首都(ブエノスアイレス)から 北 方向 931 Km
主要都市(ブエノスアイレス)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 1.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
州内の農業生産者の生産性と生活水準向上を期待し、農産物生産技術の開発、研究及び普及を実施、また土壌分析、病虫害診断及び生産者、技術者及び学生を対象にした研修も実施している。我国の協力としては、過去に、ミニプロ1990-1993年(野菜栽培技術)、土壌、野菜栽培、病虫害の個別専門家及び「野菜種子生産」のSVの派遣(2003-2006年)(2007年度予算額65000ドル/2273千円)実績がある。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
同州は、南緯27度、面積88199Km²、人口900千人、年間雨量1293mm、平均年間気温は15~40℃で、概して農作物生産に適した土壌風土であり、主要産業は林業、稲作、マテ茶栽培、柑橘類栽培、野菜栽培である。しかし、概して収入は低迷している。こうした状況から、同センターでは代替作物の導入に積極的に取り組んでおり、その一つとして、地域の立地条件を活かした花き栽培計画がある。この花き栽培に関して、州政府は農村開発及び雇用機会の促進等に貢献するための有望な産業として期待しており、優先度の高い分野であるが、新規分野であるため人材不足は否めず、その育成が急務となっている。

2) 期待される具体的業務内容
- コリエンテス州の立地条件に適し、且市場商品価値の高い花き種の選定。
- 選定した花き種に関する評価、選抜及び増殖
- 花き栽培技術指導(切花、プランタ栽培、亜熱帯気候の効果的な活用等について)
- 生産技術の移転と評価
- 農家、技術者及び学生を対象にした研修・セミナーへの参加・実施

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
農機具、ビニールハウス、灌漑設備、病害、土壌及びバイテク研究室

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 農学技師(男性3名、45歳-55歳)	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) ☑ スペイン語 (レベル: B)
--	--------------------------------------	--

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
学歴理由: CPの学歴が大卒以上であるため
経験理由: CPの職歴が15年以上であるため
理由: 業務遂行上必要であるため
理由:

・学歴 大卒 農学
・経験 実務経験 15年以上
・花き生産増殖技術経験

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

* 研修等(H:障がい者施設研修, A:エイズ配慮研修, a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト, N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能, ×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域 気候(亜熱帯性) 気温(15 ~ 40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 12 月 31 日

要請番号(SL 333 - 10 - C - 01)

調査者名:長谷川弘美

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ウルグアイ	職種 花き栽培 (コード 1002)	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	1	22 / 4	年 月 から
	指導科目 園芸			2	/	
	職種(英) Flower Growing 指導科目(英) Gardening			3	/	

プログラム番号・名 3338888888888 プロジェクト名
 格差是正(職業・技術教育)

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育審議会技術教育部 (受入機関名)(英語) Technology Education Council
	2) 配属先名 (日本語) サンカルロス農業学校 (英語) San Carlos Agricultural School
	3) 任地 マルドナド県サン・カルロス市 首都(モンテビデオ)から 東 方向 140 Km 主要都市(モンテビデオ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) サンカルロス農業学校は、モンテビデオに隣接するマルドナド県にある高等農業教育(15歳以上)を行う公立学校である。教育内容は農業経営、農業機械、工作、家畜飼料、園芸、造園および農業関連教科である。全国で18ある農業学校で造園コースがあるのは同校だけであり、全国から学生が集まっている。毎年全校で約100名の学生が入学し、職員数は教員、事務職員を含め約35名である。今年度、学生寮と教室棟が新築された。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 初代ボランティアは①園芸コース担当の教員に対し、花卉を中心とした園芸作物の技術と知識の普及 ②花卉・観葉植物の品質向上のための指導、助言 ③園芸・造園コースの内容やコースデザインの構築 ④日本文化紹介 ⑤花いっぱい運動を校内から市内に広げることが要請され活動中である。引き続き、これらの協力をを行い、園芸・造園コースの発展と充実が期待されている。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 教員や学生に対して、学校内園場での花卉・観葉植物の栽培技術に関する指導、助言 2. 教員や学生に対して、園芸作物の品質向上および市場販売のための指導、助言 3. 園芸・造園コースの教員と話し合いながら、園芸・造園コースの内容やコースデザインの構築支援 4. 花いっぱい運動を校内から市内へ広めるための支援		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 温室・チェーンソー、芝刈り機、各農機具		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長 女性 園芸・造園コース教員 7名(うち常勤2名) 20歳代~60歳代	5) 業務使用言語 <input checked="" type="radio"/> スペイン語 () <input type="radio"/> ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> スペイン語 (レベル: C)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		性別理由:
	・学歴 大卒 ・経験 実務経験	業務関連分野 15年以上	学歴理由: C/Pは大卒が多いから 経験理由: 教員養成のため、長い経験が必要 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 車輦 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車			

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(温暖) 気温(3-34℃位) 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし
電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	



平成 22 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 12 月 23 日

要請番号(SL 315 - 10- C - 09)

調査者名: 清水 義朝

国名	職種 / 指導科目 (コード 1003)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
コロンビア	職種 野菜栽培	○新規	●2年	1	22 / 3
	指導科目 野菜栽培			2	22 / 4
ア	職種(英) Vegetable Growing	●交替	○1年	2	22 / 4
	指導科目(英) Vegetable Growing			3	/
				年 月	から

プログラム番号・名 3150000000016 プロジェクト名
 その他(平和構築)

1) 受入省庁名(日本語) カルダス県庁農業局
 (受入機関名)(英語) Government or Caldas, Secretariat of Agriculture

2) 配属先名 (日本語) カルダス県庁農業局
 (英語) Government or Caldas, Secretariat of Agriculture

3) 任地 カルダス県マニサレス市
 首都(ボゴタ市)から 北西 方向 278 Km
 主要都市(マニサレス)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 同県は、山岳地帯に属しコーヒーの大産地であるが、他に有力な産業が無いため、98年に始まるコーヒー価格低迷の影響を大きく受けている。そのため、農業局は野菜からバナナ、バイオ燃料まで各種作物栽培の拡大、農産品加工を指導している。また、県全体のプロジェクトである「食料安全保障プロジェクト」では、家庭菜園などで自給率を上げる指導を行っている。職員給与を除く農業局の予算は、約1億3千万円である。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 前任者は、県の「食料安全保障プロジェクト」の一環として、マニサレス市を中心とする県中南部4地域の都市部住民に家庭菜園などの技術指導と共に、農民の組織化を通じた地域全体の発展のための事業を支援している。これらの経験の他地域への拡大のため、県庁の関係各局とともに、マニサレス市近郊に地域開発センターの設立を計画している。同センターでは、2010年に短期ボランティアと共に短期間の合宿形式で地域住民に対する村落開発・農業・農産品加工等の研修実施が予定されているが、2011年以降もこの地域開発センターが継続的・効果的に運営されることが期待されており、引き続きJICAボランティアへの支援が要請された。

2) 期待される具体的業務内容
 1. 地域開発センターにて、小規模農民に対する野菜栽培技術に関する講習会実施を支援する。
 2. 地域開発センターの継続的運営のための体制作りを協力する。
 3. 県内の安全が確認されている地域において、地域住民を対象に野菜栽培の講習会実施を支援する。
 4. 有機コーヒー認証地域で、有機野菜の栽培指導をする。
 5. 上記1及び3の地域住民等を対象に、ミミズ堆肥作成を含む土壌改良技術普及に協力する。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 PC、プロジェクター

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 同省は農業局地域責任者、30歳代、農学部卒
 指導対象者は小規模コーヒー農家や都市住民で、技術レベルは様々

5) 業務使用言語
 ● スペイン語
 ()
 ○ ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル: D)
 スペイン語 (レベル: D)

条件(資格、免許、性別)及びその理由

・学歴 大卒 業務関連分野 性別理由:
 ・経験 実務経験 5年以上 学歴理由: 同僚と同等の学歴が必要
 経験理由: 指導する立場にあるため
 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性 研修等 形態 現職教員特別参加制度
 有 無 車輦 単車 自転車

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(温帯) 気温(10~30℃位) 電気安定 不安定 なし)
 況域 電話インターネット可 通話可 不良 なし) 水道安定 不安定 なし)

平成 22 年度 春 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 22 年 1 月 5 日

要請番号(SL 315 - 10 - C - 10)

調査者名: 清水 義朝

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
コロンビア	職種 野菜栽培 (コード 1003)	○新規 ●交替 4 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 3	年 月 から
	指導科目 生産・消費・販売			2	22 / 4	
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英) Production, Consumption and Marketing			3	/	

プログラム番号・名 315000000016 プロジェクト名
その他(平和構築)

配属概要	1) 受入省庁名(日本語) キンディオ県庁経済農村環境開発局 (受入機関名)(英語) Government or Caldas, Secretariat of Economic Development
	2) 配属先名 (日本語) キンディオ県庁経済農村環境開発局 (英語) Government or Caldas, Secretariat of Economic Development
	3) 任地 カルダス県アルメニア市 首都(ボゴタ市)から 西 方向 316 Km 主要都市(アルメニア市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 経済農村環境開発局は、県内の農林畜産業の開発計画策定と実施、農産物加工産業の振興、農産物の販路拡大等に加え、経済開発に係る環境問題に関する政策的業務も行っている。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 県内で販売されている野菜の殆どが他県からの輸入に頼っている。かかる背景に加え、県の政策である「食料の安全保障」の観点から、県内における野菜生産、消費及び販路拡大を推進している。特に、近隣市の推進している、住民による都市型農業モデルの確立に対する県の技術支援に期待がかかっている。前任者は、個別農家、前述の住民による都市型農業、農業学校、小学校への栽培技術支援を行っていたが、引続き技術支援と、消費・販売に向けた協力依頼があった。前任者は、主に日本の品種のキャベツ、大根、白菜、カボチャ、チンゲン菜の栽培指導を行い、収穫野菜の調理指導なども行った。		
	2) 期待される具体的業務内容 同僚への技術移転を考慮しつつ、以下の活動を支援する。 1. 小規模農家、地域住民の都市型農業に対する野菜栽培技術向上への支援。 2. 現地に合った有機農業技術の指導と定着への支援。 3. 現在ボゴタで調達している種子の任地での入手ルート確立への支援。 4. 任地での種子の採取技術支援。 5. 同任地の料理隊員との調理方法等に関する連携活動。 6. その他、支援現場の状況や配属先との協議により必要となった業務への支援。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 利用する農具は、基本的に現場農民等が持参する。		

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由: 学歴理由: 指導的立場に必要な学歴 経験理由: 指導する立場にあるため 理由: 理由:
	・学歴 大卒 ・経験 実務経験	業務関連分野 5年以上

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(温帯) 気温(15~30℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
------	--



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 22 年 2 月 8 日

要請番号(SL 048 - 10 - C - 09)

調査者名: 柴崎栄司

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ブータン	職種 果樹栽培 (コード 1004)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 果樹栽培			1	22 / 3	年 月 から
	職種(英) Fruit Growing 指導科目(英) Fruit Growing			2	/	
		3	/			

プログラム番号・名 0480000000013 プロジェクト名 農業技術開発・普及プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 農業省
(受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture

2) 配属先名 (日本語) ダンブー自然資源研究センター
(英語) Renuable Natural Resource Reserch Center, Dhamphu

3) 任地 ダンブー
首都(ティンブー)から 南東 方向 164 Km
主要都市(ティンブー)までの交通手段及び所要時間(バス で約 7 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
農畜林業振興調査研究組織として全国に4ヶ所設けられているセンターの一つ、パジョー自然資源研究センター管轄の支部となる。果樹栽培の活発なチラン、ダガナ、サルバン県にて、普及員活動を支援している。換金作物の増産が重要課題となっており、管轄地域の果樹栽培は注目を浴びている。パジョー自然資源研究センターへはスイス、カナダ、UNDPからの援助があり、穀類生産振興のSVが2010年1月まで派遣されている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
同配属先は、1990年代、反政府活動の封じ込め作戦のために、アーミーキャンプとして接收された経緯がある。2003年に自然資源研究センターとして再開したが、施設や灌漑の修復のために、実際に業務を開始したのは2006年からであり、これから本格的に圃場での試験栽培を開始しようとしている。圃場整備と同時に、農民に対しての果樹栽培の普及や病虫害対策の指導も、県農業改良普及員と共に実施している。換金作物の普及という面で、同配属先の果たす役割は大きい。スタッフの経験が比較的浅いため、十分な試験や巡回指導が行えていない現状にある。

2) 期待される具体的業務内容
・チラン県近郊では、マンダリン、桃、梨は商業ベースに乗っており、輸出もされている。パッションフルーツは普及が開始したばかり。柑橘類は、シトラス・グリーンング病の発生が認められており、県境をまたいだ苗木の移動が禁止されている。よって、各村に穂木用の良質な木を育て、台木は農家が生産して現場で接木を行っている。このような状況において、農村部を巡回し、接木技術の指導や、新品種導入のアイデアを提供する。
・新品種導入や、品種改良のための技術指導を、配属先の圃場にて実施する。圃場は試験栽培の目的だけでなく、農民がスタディーツアーで訪問するため、デモンストレーションファームとなる。
・国立植物防疫センターと協力し、シトラス・グリーンング病対策を講じる分析機器PCR有:病虫害対策SV要請中)

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
事務スペース、試験栽培に必要な基本的な器具のみ。特殊な実験器具はなし。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル Horticulture Office (1名:女性:20代:実務経験4年) 県農業改良普及員、農民	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (V^N: B) □ (V^N:)
---	-----------------------------------	---

資格条件
条件(資格、免許、性別)及びその理由
・学歴 大卒 農学
・経験 実務経験 10年以上
性別理由:
学歴理由: 作物全般に亘っての知識を必要とするため
経験理由: 巡回指導のために、果樹園での経験が必須
理由:
理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

* 研修等(H:障がい者施設研修, A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト, N: NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能, x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(温暖) 気温(5 ~ 30℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 22 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 2 月 4 日

要請番号(SL 324 - 10 - C - 09)

調査者名:長谷川 辰雄

国名	職種/指導科目 (コード 1004)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
パラグアイ	職種 果樹栽培	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 3
	指導科目 果樹栽培			2	22 / 4
	職種(英) Fruit Growing 指導科目(英) Fruit Growing			3	/

プログラム番号・名 3240000000010 プロジェクト名 JOCV・SV
小農自立化支援

配属概要	1)受入省庁名(日本語) 日系農協中央会 (受入機関名)(英語) Federation of Agricultural Cooperatives NIKKEI
	2)配属先名 (日本語) 日系農協中央会 (英語) Federation of Agricultural Cooperatives NIKKEI
	3)任地 パラグアイ県ラ・コルメナ市 首都(アスンシオン)から 南東 方向 130 Km 主要都市(ラ・コルメナ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同国にある5つの日系人農協(ラ・コルメナ、アマンバイ、ラ・パス、ピラポ、イグアス)の上部組織で、畑作物(大豆、小麦、他)、果樹(落葉果樹等)、野菜生産を行う組合員を束ねる組織。首都卸売り市場販売所の運営など加盟農協の協同事業やイベントの取りまとめを担う。近年はJICAの「南東部小規模農協強化計画」プロジェクトにも参画し、パラグアイ人小農家支援事業も実施している。

要請概要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) パラグアイの落葉果樹生産は、気候条件が亜熱帯と厳しい事から、適性品種の選定や病害虫問題など高度な栽培技術が要求される。一方、小農家にとっては小面積でも換金性の高い品目である。約70年前に日系人が入植したラ・コルメナ移住地では、他の日系人移住地が大豆・小麦等の畑作が中心であるのに対し、国内で唯一と呼べる落葉果樹の一大生産地を形成している。よって、当国の落葉果樹生産の牽引役である同地域の篤農家のレベル向上を図る事は、当国の栽培技術の革新を意味し、また、他の移住地区やパラグアイ農業試験場(CETAPAR)等においても必要に応じ活動を行い将来的にはパラグアイ人小農家の底上げに繋がる事が期待される。	
	2)期待される具体的業務内容 1. 栽培品目はぶどう(巨峰、マスカット、ナイアガラなど)、すもも、柿、柑橘類などであるが、過去30年来品種改良が進んでおらず、病害が少しずつ拡大し生産性が低下傾向にある。よって、ラ・コルメナ移住地を中心としたモデル農家の巡回などにより、ぶどう(巨峰、マスカットなど)の新品種への切り替え支援。 2. すもも、りんごなどの落葉果樹全般に係る栽培技術支援 3. より収益性の高い営農体性を構築するための全般的な営農指導。 4. その他の地域(他の日系移住地やCETAPAR等)の果樹農家への個別訪問・講習会開催等をとおした、普及活動。	
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 機	

資格条件	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 関係農協役員 3名(20~30歳代)	5)業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: D) □ スペイン語 (レベル: C)
------	---	--	---

条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由: 学歴理由: 経験理由:業務遂行上十分な経験が必要 理由: 理由:
--------------------	--

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a.エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(亜熱帯) 気温(0~40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
-----	--



平成 22 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 2 月 3 日

要請番号(SL 060 - 10- C - 16)

調査者名: 小澤重久

国名	職種/指導科目 (コード 1006)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ネパール	職種 きのこ栽培	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 3
	指導科目 きのこ栽培			2	22 / 4
	職種(英) Mushroom Culture 指導科目(英) Mushroom Cultivation and Research			3	/

プログラム番号・名 0600000000010 プロジェクト名 農業農村開発プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 農業・協同組合省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Co-operatives

2) 配属先名 (日本語) ネパール農業研究評議会 植物病理部
 (英語) Plant Pathology Division, Nepal Agriculture Research Council (NARC)

3) 任地 ラリトプール郡クマルタール
 首都(カトマンズ)から 南東 方向 5 Km
 主要都市(カトマンズ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 配属先は農業分野の研究開発を行う、政府から独立した機関である。植物病理部ではきのこ栽培の研究開発のほか、植物の病害診断や予防、減農薬栽培に関する研究を行っている。過去に数代きのこ栽培隊員の支援を受けており、当時作られた研究施設が現在も使用されている。2008年1月より2010年1月まで政府機関に配属し活動したSV(職種・きのこ栽培)が配属先での業務のかたわら支援を行った。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 ネパールにきのこ栽培が導入されたのは新しいことではないが、近年国内市場が開拓されたことに伴い種菌生産者、きのこ生産者ともに増加傾向にある。先述のきのこ栽培SVは、政府機関を拠点としてNARC、きのこ生産者、種菌生産者を巡回し、マンネンタケ栽培法の確立、良質種菌生産のための検査と技術指導等を行い、これまでにマンネンタケの栽培、種菌生産技術の向上などで成果を上げている。同国内のきのこ栽培の発展のためには、今後、品種の導入による生産の多様化や、同国に適した母菌保存技術の確立による品種改良などが必要となるが、技術者を育成する必要があるため、今回の要請に至った。

2) 期待される具体的業務内容
 1. きのこ栽培に適した培地の改良
 2. 改良したきのこ栽培技術の普及試験
 3. きのこ育種技術の導入及び種菌生産者に対する良質種菌の提供
 4. 病害虫対策支援

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 クリーンベンチ、オートクレーブ、pHメーター、湿度分析器、ほか実験器具各種

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 部長 50歳代女性
 シニアサイエンティスト 50歳代男性 修士 1名
 シニアテクニカルオフィサー 40歳代男性 大卒 1名
 技術アシスタント 50歳代男性 1名

5) 業務使用言語
 ● 英語
 ()
 ○ ネパール語
 ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル: B)
 (レベル:)

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
 学歴理由: きのこ栽培の専門知識が必要
 経験理由: 技術指導を行うため
 理由:
 理由:

・学歴 大卒 林学
 ・経験 実務経験 5年以上

活動用交通手段の必要性 研修等 形態 現職教員特別参加制度
 有 無 車輦 単車 自転車

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域 気候(亜熱帯) 気温(0-35℃位) 電気 安定 不安定 なし
 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道 安定 不安定 なし)

平成 22 年度 春 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

記入日:平成 20 年 7 月 9 日

要請番号(SL 251 - 10- C - 05)

調査者名: 綿引純男

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
パナマ	職種 病虫害対策 (コード 1101)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 病虫害防除			1	22 / 3	年 月 から
	職種(英) Disease and Pest Control			2	22 / 4	
指導科目(英) Control of Plant Disease and Plagues	3	/				

プログラム番号・名 2510000000003 プロジェクト名
 地方貧困削減のための地域開発モデル・プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農牧研究庁 (受入機関名)(英語) Panamanian Institute of Agricultural Research (IDIAP)
	2) 配属先名 (日本語) 農牧研究庁オジャス・アリバ試験場 (英語) IDIAP - Experimental Station of Ollas Arriba
	3) 任地 パナマ県カピラ市 首都(パナマ市)から 南西 方向 54 Km 主要都市(パナマ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は農林水産業の生産性向上を目的に、調査・研究および生産者への指導を行う農牧省内の機関である。プログラム計画2005-2015では、食の安全性、農産物の競争力、持続的な農業、国家的農業技術力の強化を上位目標に取り組んでいる。同試験場は、農業技師3名、同助手2名、作業員5名他、計14名のスタッフ。プロジェクト予算は、8,000米ドル。他に機材購入予算として、23,000米ドルを計上している。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先では、近年の農産物輸出において、国際的に化学農薬の使用規制が厳しくなってきたため、減農薬による病虫害対策が重要視され、組織を挙げてこの対策に取り組んでいる。しかし、豊富な経験と知識を持ち合わせた人材が不足しているため、今回の要請があげられた。主にトマトに被害をもたらす、Mosca Blanca (コナジラミ) に対する寄生防除の研究に取り組んでいる。同試験場は15hの面積で、他に、薬草栽培と野菜等の種子採取のプロジェクトに取り組んでいる。
	2) 期待される具体的業務内容 主な対象作物はトマトであるが、その他国内生産・消費される様々な野菜類も対象として以下の業務が期待されている。 1. 害虫天敵の飼育 2. 寄生防除法の策定 3. 総合防除による、トマト等野菜栽培法の確立
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 執務室、執務机、基本的な検査器具

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 生物防除プロジェクト責任者: 女性(昆虫学修士)、50歳代、本庁勤務 同試験場同僚: 女性(バイオテクノロジー技師)、30歳代 同試験場同僚: 男性(農業助手)、50歳代	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ スペイン語 (レベル: C)
---	--------------------------------------	--

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・学歴 修士 農学 ・経験 実務経験 性別理由: 学歴理由: 高度な知識と技術が求められるため 経験理由: 高度な知識と技術が求められるため 理由: 理由:
------	--

活動用交通手段の必要性 ○ 有 ● 無 ○ 車輦 ○ 単車 ○ 自転車	研修等	形態	現職教員特別参加制度
--	-----	----	------------

* 研修等(H.障がい者施設研修、A.エイズ配慮研修 a.エイズ基礎講義) * 形態(P.ボランティアプロジェクト、N.NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(熱帯) 気温(25-35) 電話(☑ インターネット可 □ 通話可 □ 不良 □ なし)	電位	電気(☑ 安定 □ 不安定 □ なし) 水道(☑ 安定 □ 不安定 □ なし)
-----	--	----	--



平成 22 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 12 月 18 日

要請番号(SL 318 - 10- C - 01)

調査者名: 櫻井 国弘

国名	職種 / 指導科目 (コード 1101)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エクアドル	職種 病虫害対策	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 3
	指導科目 病虫害対策			2	22 / 4
	職種(英) Disease and Pest Control 指導科目(英) Disease and Pest Control			3	/

プログラム番号・名: _____ プロジェクト名: _____

配属先概要

1) 受入省庁名(日本語) NGOプラン・インターナショナル
 (受入機関名)(英語) NGO PLAN INTERNATIONAL

2) 配属先名 (日本語) プラン・エクアドル リオバンバユニット
 (英語) CHIMBORAZO PROGRAMME UNIT、PLAN ECUADOR

3) 任地 チンボラソ県リオバンバ市
 首都(キト市)から 南 方向 200 Km
 主要都市(リオバンバ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 受入機関は世界約50か国で活動を展開する国際NGO団体である。国内に14のプログラムユニット(支局)がある。リオバンバユニットでは、山岳の貧困地域における子どもの生活環境全般を改善するため、教育、保健、農業分野などで様々な活動を実施している。これらの活動の一環として、農作物の自給率の向上と野菜販売による収入向上目的として、農作物の品質と生産性の向上に取り組んでいる。

要請概要

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 配属先は、県内グアモテ市の山岳農村において、住民の意見や伝統的手法を取り入れながら、住民参加型の実験圃場を3年計画で実施中である。主な対象作物を、ジャガイモ、大麦、ソラ豆とし、土壌、肥料、品種などを変えながら、実験を進めているが、高地での野菜栽培の病虫害(主に菌性病害)に関する専門知識と経験を有した人材がない為、ボランティアの要請となった。現在、県内の大学に配属された土壌改善のシニア海外ボランティアが同配属先と協働して、住民参加型実験圃場の運営を行っている。

2) 期待される具体的業務内容
 定期的の実験圃場を巡回し、住民参加型手法を意識しながら以下の活動を行う。
 1. 病虫害に関する現状調査を行うと共に調査手法を指導する。
 2. 作物の品質に関する調査を行う。
 3. 調査結果を分析の上、病虫害対策に関する提案を行う。
 可能な範囲で、以下の活動にも取り組む。
 4. 同上提案実証の為、実験圃場の運営に携わる。
 5. 上記活動のデータの集積と分析を行う。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 PC、事務用品一式、巡回用車両(但しボランティア専用ではない)

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 支局長: 男性、30歳台後半、農業技師

5) 業務使用言語
 ● スペイン語 ()
 ○ ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル: C)
 スペイン語 (レベル: C)

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

・学歴 大卒 農学
 ・経験 実務経験 5年以上

性別理由:
 学歴理由: 調査、分析、対策案の策定が必要のため
 経験理由: 調査、分析、対策案の策定が必要のため
 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車		N	

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域況 気候(山岳高地乾燥) 気温(15~25℃位) 電気安定 不安定 なし
 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道安定 不安定 なし

平成 22 年度 春 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 22 年 2 月 4 日

要請番号(SL 324 - 10 - C - 15)

調査者名:長谷川 辰雄

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
パラグアイ	職種 病虫害対策 (コード 1101)	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 3
	指導科目 病害防除			2	22 / 4
	職種(英) Disease and Pest Control 指導科目(英) Plant Diseases			3	/
				年 月 から	

プログラム番号・名 3240000000010 プロジェクト名 小農自立化支援

配属概要	1)受入省庁名(日本語) 農牧省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture
	2)配属先名 (日本語) 国立農業研究所 (英語) National Institute of agriculture
	3)任地 コルディジェラ県カアケペ市 首都(アスンシオン市)から 東 方向 45 Km 主要都市(アスンシオン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同研究所では、1997年から2002年まで、JICAによって「小農野菜生産技術改善」プロジェクトが実施された。同プロジェクトでは育種、栽培、病害防除、虫害防除の各分野の実験室が整備され、小農に適した栽培技術の開発、病虫害の防除法の開発、適正品種の育種等の活動と、栽培技術の普及が行われてきた。2005年4月から虫害防除のSV、2007年3月から病害防除のSVが派遣されてきた。

要請概要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) パラグアイでは人口の半数近くが農村部に分布しているものの、小農対策は最も対応が遅れており、国内では30%弱にものぼる土地なし農民が存在する。これら小農の生産基盤および生産技術強化、生産物の多様化や付加価値の向上は農業セクター強化の支柱になる。研究所ではこれら背景を踏まえ、小農に適した栽培技術の開発、病虫害の防除法の開発、適正品種の育種等の開発と合わせてこれら適正技術の普及を行ってきた。プロジェクト終了後は独自に活動を継続してきたが、専門的な技術指導が必要となり、ボランティアの要請に至った。		
	2)期待される具体的業務内容 前任SVの活動をさらに機能的かつ効率的に進めるため、下記項目についてカウンターパートへの指導を行う。 1.野菜(トマト、ナス、メロン等)の病害の実態調査 2.病害(ウイルス病、細菌病)の同定 3.これら病害の防除方法の開発 4.病害防除にかかる技術指導と普及活動		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 光学顕微鏡、クリーンベンチ、恒温器、オートクレーブ、乾熱滅菌器、冷蔵庫、実体顕微鏡		
資格条件	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 植物用理研究員(男性、30歳後半)、大学農学部卒、プロジェクトの日本人専門家のカウンターパート経験・本邦技術研修経験有り。	5)業務使用言語 ●スペイン語 () ○ ()	6)選考指定言語 ☑英語 (レベル: C) □ (レベル:)

条件(資格、免許、性別)及びその理由
 性別理由:
 学歴理由:
 経験理由:実務を通じてカウンターパートへ指導を行うため
 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

* 研修等(H.障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a エイズ基礎講義) * 形態(P.ボランティアプロジェクト、N NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎ 現職教員特別参加制度での派遣が可能、× 現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(亜熱帯) 気温(5~40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 22 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 12 月 21 日

要請番号(SL 469 - 10- C- 03)

調査者名: 北島 裕行

国名	職種 / 指導科目 (コード 1101)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
モロッコ	職種 病虫害対策	○新規 ●交替 4 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 3	年 月 から
	指導科目 病虫害対策			2	22 / 4	
	職種(英) Disease and Pest Control 指導科目(英) Disease and Pest Control			3	/	

プログラム番号・名 4690000000006
産業振興プログラム

プロジェクト名

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 農業・漁業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Martime Fisheries
	2)配属先名 (日本語) ケニトラ農学研究所 (英語) Regional Agricultural Research Center of Kenitra
	3)任地 ケニトラ 首都(ラバト)から 北 方向 40 Km 主要都市(ラバト)までの交通手段及び所要時間(鉄道 で約 0.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 全国に10か所ある農業研究所の一つで、農作物の競争力を向上させるため、主に生産性・品質向上に関する研究を行なっている。この研究所は病害・雑草・ウイルス・天敵・害虫・センチュウ等の研究及び品質改良の研究をしている。研究員19名と助手29名が勤務している。ケニトラ大学の大学院生も研究活動を行なっている。圃場(50ha)が研究所に隣接しており、柑橘類等を試験栽培している。年間予算は約1000万円。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) GDPにおける農業セクターは15%、就業人口の約半分が農業セクターであり、依然として農業の役割は大きい。輸出作物の筆頭である柑橘類を主眼に肥料や殺虫剤等の使用は生産者に増産による利益をもたらしたが、環境汚染・食物への残留農薬・農業の有効性の減退等のマイナス面があり、消費者からも減農薬農産物を求める動きが出ている。初代SV(植物病理学)、2代目SV(木酢液を利用した自然農薬)、3代目SV(対抗植物による防除試験・研究)を行なっており引き続き農産物の病虫害総合防除技術の確立について知識・経験の豊富なSVが要請された。		
	2)期待される具体的業務内容 以下の1~3の何れかの研究を通じた病虫害総合防除技術の確立の研究指導を希望している。また日本での同様の研究機関との連携が可能であればなお良いと考えている。 1. 病虫害防除および農薬に関する研究(野菜柑橘類) 2. 水・土地・植物に安全な農薬に関する研究 3. 主要農産物に対する農薬の使用法についての研究(野菜柑橘類) 4. 難防除病害虫に関する対策研究(野菜柑橘類)		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 植物病理および農薬に関する研究用汎用機器(顕微鏡、遠心分離機、定温機器、冷蔵庫)		

資 格 条 件	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 室長(カウンターパート)40歳代後半、博士、JICA研修経験あり。研究員女性50歳代、大学院生20歳代	5)業務使用言語 ● フランス語 () ○ 英語 (可能)	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・学歴 大卒 ・経験 実務経験 10年以上 性別理由: 学歴理由: 経験理由: 研究所における研究業務のため 理由: 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a.エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N NGO) * 現職教員特別参加制度(◎ 現職教員特別参加制度での派遣が可能、× 現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地況 気候(地中海性) 気温(5~35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 春 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 22 年 2 月 4 日

要請番号(SL 324 - 10 - C - 12)

調査者名: 澤田 和宏

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
パラグアイ	職種 土壤肥料 (コード 1102)	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 3	年 月 から
	指導科目 土壤分析			2	22 / 4	
	職種(英) Soils and Fertilisers 指導科目(英) Soil analysis			3	/	

プログラム番号・名 3240000000010 プロジェクト名 小農自立化支援

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 農牧省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Stock Raising
	2) 配属先名 (日本語) 地域農業研究センター (英語) Regional Agricultural Investigation Center
	3) 任地 イタプア県カピタン・ミランダ市 首都(アスンシオン)から 南東 方向 450 Km 主要都市(エカルナシオン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.3 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1980年前半の南部パラグアイ農林業開発計画で開設された地域農業研究センターでは、1990年から主要穀物生産強化プロジェクト(～1997年)を実施し、大豆・小麦に関する育種、栽培、土壌の研究体制及び種子生産体制の強化に協力してきた。さらに2006年から2008年2月まで、大豆さび病抵抗性品種の育成プロジェクトが実施された。現在大豆育種に関しSVが活動中である。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 1990年から地域農業研究センターでは、技プロ「主要穀物生産強化プロジェクト」を経て、大豆・小麦に関する育種、栽培、土壌肥料の分野で技術指導が行われてきており、パラグアイ農業生産に大きな成果を残すに至った。2006年から大豆の病害について専門家の技術指導が継続され、2008年から大豆育種SVが活動中で2010年10月までの任期となっているが、この成果を継承するためにも人材育成が急務となっており、土壌管理にかかるとSVの支援が望まれている。	
	2) 期待される具体的業務内容 下記の項目について、カウンターパート及びスタッフに対して、技術支援を行う。 1. 土壌診断項目の分析技術の開発。 2. 各種土壌分析方法の有効性と現地適応性。 3. 土壌診断に基づく土壌改良に関する技術。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 電子天秤、播種機、土壌水分計、地中温度計、蒸留水製造装置、その他実験用ガラス器具等一式	

資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 主任カウンターパート: 土壌管理主任、女性、40歳半ば、スタッフ: 農業助手1名	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ その他 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ (レベル:)
------	--	---------------------------------------	---

条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由: 学歴理由: 同僚が同等以上の資格を有している 経験理由: 理由: 理由:
--------------------	--

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a.エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N NGO) * 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地域況 気候(亜熱帯) 気温(0~40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 1 月 11 日

要請番号(SL 060 - 10 - C - 02) 調査者名: 小澤重久

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ネパール	職種 農業協同組合 (コード 1501)	●新規 ○交替 ○ 代目	●2年 ○1年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 協同組合運営指導			1	22 / 3	年 月 から
	職種(英) Farmer's Co-operatives 指導科目(英) Cooperative management			2	22 / 4	
		3	/			

プログラム番号・名 0600000000010 プロジェクト名 農業農村開発プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業協同組合省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Co-opretative
	2) 配属先名 (日本語) 農業局農業振興課 (英語) Directorate of Agriculture Extension Department of Agriculture
	3) 任地 ラリトプール 首都(カトマンズ)から 南 方向 2 Km 主要都市(カトマンズ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.3 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先はネパールでの農業振興策の政策立案部署。ネパールは人口の80%が農業に従事し、その1.3%が農民グループに組織され0.7%が農業協同組合として活動している。現在、農業協同組合省では協同組合の育成にちからを入れているが、その主な事業が貯蓄信用事業であり、今後、多数の農民を組織した本格的な農業協同組合事業の展開をめざしている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現在ネパールでは地方農業開発事務所が中心となり、農民のグループ化を行い農業技術の指導などを行っている。そのグループが持続的な事業体として発展できるよう、協同組合化を模索している。いくつかの先進的な農業協同組合や農業協同組合連合会も存在するが、小規模であり多くの農民を組織した本格的な農業協同組合への発展に向け支援が求められている。農業振興課では、農業協同組合の運営や事業イメージを農民に浸透させるためにもモデル協同組合の設立が求められていると判断し、今回の要請にいたった。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. 農業振興課の地域農業開発事務所支援策作成への参画 2. 地方農業事務所スタッフのトレーニング 3. モデル協同組合作りの支援	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 PC、プロジェクター	
要 請 概 要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 課長は40代、博士課程修了者 その他スタッフは30代~40代 5名	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()
		6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・学歴 大卒 ・経験 実務経験 10年以上	性別理由: 学歴理由: 配属先のスタッフとの同等の学歴が求められる 経験理由: 実際の実務指導がとめられるため 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性 研修等 形態 現職教員特別参加制度

○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車

* 研修等(H 障がい者施設研修, A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P. ボランティアプロジェクト, N. NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎: 現職教員特別参加制度での派遣が可能, ×: 現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(亜熱帯) 気温(0-35℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
 況域 電話(☑インターネット可 □通話可 ☑不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 22 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 1 月 8 日

要請番号(SL 060 - 10- C- 07)

調査者名: 小澤重久

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ネパール	職種 農業協同組合 (コード 1501)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	22 / 3
	指導科目 協同組合研修・活動促進			2	22 / 4
	職種(英) Farmer's Co-operatives 指導科目(英) Co-operative Promotion & Training			3	/
				年 月 から	

プログラム番号・名 0600000000010 プロジェクト名 農業農村開発プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業協同組合省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Co-operative
	2) 配属先名 (日本語) カスキ郡協同組合開発事務所 (英語) District Co-operative Development Office KASKI
	3) 任地 ポカラ市 首都(カトマンズ)から 南西 方向 200 Km 主要都市(カトマンズ)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は農業協同組合省、協同組合局の地方組織で、協同組合の設立指導、リーダー等の研修を行なっている。ネパール政府は住民の自主的な事業体である協同組合が地域開発に果たす役割を認識しており、人々が協同することで生み出される力を持続した事業体として発展させ、人々の収入向上や生活改善等が実現される必要があるとしている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ネパールの協同組合の場合その主な活動は、セービング&クレジットのみにとどまっているケースが多く、本来の協同組合の在り方である「協同組合事業を通じた組合員の生活改善」や「地域社会への貢献・地域社会とのつながり」や、あるいは「組合員活動を通じた人々の権利保護等の活動」等がほとんど取り込まれていない現状がある。ボランティアには、協同の理念の普及や組合の民主的な運営改善に向けた指導とともに、協同組合の仕組みを利用したさまざまな事業展開の支援が期待されている。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 協同組合リーダーにたいする、協同組合運営の研修 2. 個別協同組合を訪問した運営改善指導 3. 農民グループの協同組合化の指導、支援 4. 農民グループと都市部協同組合との提携事業の等の支援		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 PC		
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 40代後半~30代5名 所長1名50代、大学修士課程修了 トレーナー2名30代	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・経験 実務経験 5年以上 性別理由: 学歴理由: 経験理由: 実際の協同組合指導にかかわるため 理由: 理由:		

活動用交通手段の必要性		研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無	○車輜 ○単車 ○自転車			

* 研修等(H 障がい者施設研修、A・エイズ配慮研修 a・エイズ基礎講義) * 形態(P. ボランティアプロジェクト、N. NGO)	
* 現職教員特別参加制度 (◎. 現職教員特別参加制度での派遣が可能、× 現職教員特別参加制度での派遣が不可能)	
概地況	気候(亜熱帯) 気温(0-35℃位) 電気(☐安定 ☑不安定 ☐なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☐安定 ☑不安定 ☐なし)

平成 22 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 12 月 10 日

要請番号(SL 115 - 10- C - 04)

調査者名: 木村 忠

国名	職種 / 指導科目 (コード 1501)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ミクロネ シア	職種 農業協同組合	● 新規 ○ 交替 2 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	22 / 3	年 月 から
	指導科目 農業政策			2	22 / 4	
	職種(英) Farmer's Co-operatives 指導科目(英) Agricultural Policy			3	/	

プログラム番号・名 1150000000002 プロジェクト名
 地場産業振興

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) コスラエ州 (受入機関名)(英語) Kosrae State Government
	2) 配属先名 (日本語) 資源経済局農業・土地管理課 (英語) Dept Resources & Economic Affairs, Div. Agriculture & Land Management
	3) 任地 コスラエ州 首都(パリキール)から 南東 方向 500 Km 主要都市(トフォル)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農・漁業振興、貿易・投資の拡大を通して、州の経済開発を推進することを目的とする機関。予算は米国からの援助(コンパクトマネー)で、2010年度は約445,000ドル(約3,900万円)。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) コスラエ州には農業ポテンシャルがあるとされながらも、自給的な零細農業が主流で、商品化や輸出振興は進んでおらず、州経済への貢献は限定的である。このため州政府は、生産性の向上、規模拡大、組織化によって農業開発を推し進めるため、政策的に支援することを目指している。しかし、州政府内の現状分析力や政策立案能力は不十分なため、アドバイザーとしてのボランティアの要請がなされた。		
	2) 期待される具体的業務内容 戦略的な農業開発のため、野菜と果樹に注目して以下の支援を行う。 1. 現在主流である自給的零細農業の実態調査と分析を担当 2. 生産性向上と組織化を目指した政策提言を担当 3. 今後5年を目指した、農業開発のためのアクションプランを作成 4. 上記業務を通して、農業の実態調査・分析や政策立案手法について同僚を指導する		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 デスクトップおよびノートPC (Windows Vista, Office 2007, インターネット接続有)、その他プリンタ、コピー機等一般的な事務機器		

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 局長(男性、30代)、課長(男性、50代)、同僚(男性、50代)、その他スタッフ5名		5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・学歴 大卒 業務関連分野 性別理由 . ・経験 実務経験 5年以上 学歴理由: 専門知識が求められるため 経験理由: 即戦力として政策立案支援が求められるため 理由: 理由:			

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

* 研修等(H:障がい者施設研修, A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト, N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(熱帯性海洋気候) 気温(年間平均26℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
----------	--

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 22 年 2 月 5 日

要請番号(SL 027 - 10 - C - 04)		調査者名: 志賀 龍				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ベトナム	職種 村落開発普及員 (コード 1503)	●新規 ○交替 1 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 地域開発指導			1	22 / 3	年 月 から
	職種(英) Rural Community Development 指導科目(英) Community Development Advice			2	22 / 4	
プログラム番号・名 0270000000022 プロジェクト名 中部地域災害に強い地域づくりプログラム						
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育訓練省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education and Training					
	2) 配属先名 (日本語) フェ大学農林大学農村開発普及学部 (FERD) (英語) FERD, College of Agriculture and Forestry, Hue University					
	3) 任地 トゥアティエン・フエ省フエ市 首都(ハノイ)から 南 方向 680 Km 主要都市(フェ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.2 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農村開発普及学部 (FERD) は、フェ大学農林大学の学部のひとつとして農村開発にかかる人材育成を軸に、農林水産技術の研究・普及を行なっている。これは学内に留まらず、関連行政機関の職員をはじめ農民や漁民など幅広い人々も対象としており、地域開発の窓口的な役割を担っていると見える。なお、現在、カナダ政府の支援で沿岸地域資源管理プロジェクトを実施しているほか、いくつかの資金助成を受けて事業を展開している。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先では大学という枠組みとらわれないこと、行政担当者、地域の農業普及員や住民など農林水産業に関わる様々な人々の技術普及・向上を目指し、地域社会に対する積極的な取組みを行っている。しかしながら、これに携わる配属先スタッフの能力は必ずしも十分ではなく、スタッフの育成を通じた配属先の機能強化は喫緊の課題となっており、相応の助言や指導ができる人材が求められ、本要請に至った。 なお、同大学付属機関の農林業研究開発センター (CARD) では、自然災害常襲地である同地の暮らしと安全の向上を目的に、生業の多様化等を図るJICA草の根技術協力事業が実施されており、連携した活動も期待される。					
	2) 期待される具体的業務内容 配属先スタッフを研究者・指導者として育成することを念頭に置きながら、以下の活動を行う。 ①配属先の研究対象地域における社会経済および農村管理に関する政策分析の支援。 ②配属先が実施する各種技術普及・向上プログラムにおける「①」の活用にかかる支援。 ③配属先が実施する各種技術普及・向上プログラムの運営・管理にかかる支援やアイデア提供。 ※各種プログラムを通じて、農林業研究開発センターで実施されているJICA支援のノウハウ(地域の災害対処力の強化や生業多様化等)を広く紹介することも想定される。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコンやプロジェクターなど一般事務機器はある程度整備されており、ボランティアも利用可能。					
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・ 学部長1名 (男性/50歳代) ・ 講師1名 (女性/30歳代) ・ 学部スタッフ数名 (育成対象者となる)		5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ベトナム語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: A) □ (レベル:)		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 学歴 修士 業務関連分野 10年以上 性別理由: ・ 経験 実務経験 学歴理由: 高等教育機関スタッフの指導を行うため 経験理由: 活動上必要 理由: 理由:					
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度	
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車						
* 研修等(H・障がい者施設研修、A・エイズ配慮研修 a・エイズ基礎講義) * 形態(P・ボランティアプロジェクト、N: NGO) * 現職教員特別参加制度 (○・現職教員特別参加制度での派遣が可能、×・現職教員特別参加制度での派遣が不可能)						
概 況	気候(亜熱帯) 気温(15~40℃位)		電気(□安定 ☑不安定 □なし)	水道(□安定 ☑不安定 □なし)		
況 域	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)					



平成 22 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 2 月 4 日

要請番号(SL 324 - 10- C - 10)

調査者名: 森田 音佳

国名	職種/指導科目 (コード 1503)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
パラグアイ	職種 村落開発普及員	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 3
	指導科目 生活改善			2	22 / 4
	職種(英) Rural Community Development 指導科目(英) Lifestyle Improvement			3	/

プログラム番号・名 3240000000010 プロジェクト名 小農自立化支援

1) 受入省庁名(日本語) 農牧省
(受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Stock Raising

2) 配属先名 (日本語) 農牧省農業普及局
(英語) Diffusion Department of the Ministry of Agriculture and Stock Raising

3) 任地 セントラル県サンロレンソ市
首都(アスンシオン)から 東 方向 12 Km
主要都市(アスンシオン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
農牧省農業 普及局は全国に142か所の普及事務所と18か所の監督官事務所、519名の職員を有する。同局では主要な業務として、農家に対する生活改善指導や栽培技術研修会などを行っている。現在、農牧省関係機関に対しJICAより、小農支援のための総合的開発調査、有償資金協力(PG-P14)が行われているほか、これまでにSV、JOCVが多数派遣されている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
JICAパラグアイでは小農自立化支援プログラムに沿い「小農支援のための総合的開発調査」(2009年2月~2010年12月)を進めており、農牧省農業 普及局も協力機関として選出されている。同局には農業技術や生活改良普及員の人材が豊富だが、組織機能が脆弱でこれを活かしてきていない。同調査では、生活改良普及員の組織化および本局と地方事務所の連携強化を図り、生活改善にかかるパイロットプロジェクトを企画・実行する。派遣されるSVは、本局と地方との連携強化と普及局全体の組織強化(生活改善部門)に協力する。農村開発についての知識・経験が豊富で、求心力・指導力に長けた人材が求められている。

2) 期待される具体的業務内容
1. 農業 普及局内の人材をリストアップし、若い世代の職員たちが生活改良普及員として活躍するための教育チームを組織する。
2. 局内にある有益な資料や教材について、これを職員教育や現場で利用できるように整理する。
3. 「小農支援のための総合的農村開発計画」と連携し、農業 普及局の職員たちとともに、農業普及本局と18の地方監督事務所(CDA)の連携強化に向けた助言・働きかけを行う。
4. 組織化を担当する本局職員(C/P)たちとともに、地方の生活改良普及員の組織化を目指した助言や働きかけを行う。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
事務用機器一式

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
部長 40代 男性
農業技師 40代~50代 男女 大学卒以上 数名
指導対象 20代~50代 生活改良普及員 主に女性 約60名

5) 業務使用言語
● スペイン語
()
○ ()

6) 選考指定言語
☑ 英語 (レベル: B)
□ スペイン語 (レベル: B)

資格条件
条件(資格、免許、性別)及びその理由
性別理由:
学歴理由:
経験理由: 生活改良普及員を総括する立場であるため
理由: 生活改良普及員を総括する立場であるため
理由:

・経験 実務経験 5年以上
・生活改良普及員

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車			

* 研修等(H:障がい者施設研修, A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト, N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能, ×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概況
気候(亜熱帯) 気温(0~40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 春 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 21 年 12 月 16 日

要請番号(SL 324 - 10 - C - 02)

調査者名: 森田 音佳

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
パラグアイ	職種 農業生産技術 (コード 1903)	●新規 ○交替 1 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 3
	指導科目 有機農業			2	22 / 4
	職種(英) Agricultural technology 指導科目(英) Organic Farming			3	/

プログラム番号・名 324000000010 プロジェクト名 小農自立化支援

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 農牧省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Livestock
	2) 配属先名 (日本語) 農牧省農業普及局 (英語) Extention Department of the Ministry of Agriculture and Livestock
	3) 任地 セントラル県サンロレンソ市 首都(アスンシオン)から 東 方向 11 Km 主要都市(アスンシオン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農牧省農業普及局は全国に142か所の普及事務所と18か所の監督官事務所、800名以上の職員を有する。同局では主要な業務として、農家に対する生活改善指導や栽培技術研修会などを行っている。現在、農牧省関係機関に対しJICAより、小農支援のための総合的開発調査、PG-P14有償資金協力が行われているほか、これまでにSV、JOCVが多数派遣されている。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 農牧省農業普及局は小農の営農安定化を図るために、これまでに同局配属SVとともに農作物の多様化や病虫害防除などについて、技術向上および小農に対する普及を行ってきた。現在、パラグアイ国では小農を対象とした環境へのインパクトが小さく持続可能な有機農業を重要な農業政策として位置づけている。これを受け、農業普及局では小農の有機栽培技術力向上を指導する方針にあるが、局内には有機栽培に長けた専門家が不足しているため、同分野で指導可能なSVの派遣が望まれている。		
	2) 期待される具体的業務内容 有機農業全般にかかる栽培技術指導 1. 土壌改善 2. 有機肥料調整および施肥 3. 病虫害駆除法と自然農薬普及 4. 持続可能な循環型農業モデルの展示圃場での実践		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン、デジタルカメラ、コピー機、噴霧器、移動用ピックアップトラック		

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 農業技師(女性、40歳後半)、修士卒 農業技師(女性、40歳後半)、大学卒 農業経営(男性、30歳代)大学卒	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: C) □ (レベル:)
--	--------------------------------------	---

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由: 学歴理由: 経験理由: C/Pの技術レベルが高く最低この程度は必要 理由: 普及活動を行うため必須 理由:
	・経験 実務経験 5年以上 ・農業普及員	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域	気候(亜熱帯) 気温(0-40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
-----	--

平成 22 年度春 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○EJV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 1 月 7 日

要請番号(SL 630 - 10- C - 02)

調査者名: 米村龍子

国名	職種/指導科目 (コード 1201)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
モザン ビーク	職種 農業土木	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 3
	指導科目 灌漑計画・工事			2	22 / 4
	職種(英) Agricultural Civil Engineering 指導科目(英) Irrigation Scheme & Works			3	/

プログラム番号・名 _____ プロジェクト名 _____

1) 受入省庁名(日本語) 農業省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture

2) 配属先名 (日本語) マプト州農業局
 (英語) Maputo Provincial Directorate of Agriculture

3) 任地 マトーラ
 首都(マプト)から 西 方向 30 Km
 主要都市(マプト)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 マプト州8郡に設置されている農業事務所を管轄し、州内における農業・畜産業・林業に係る農業行政全般をつかさどる。局長の下に、農業課、畜産課、普及課、森林課などがあり、年間予算は日本円で約2億7千万円。局への直接的な外国の援助はなく、現在、JICAを含めた他国からのボランティア派遣も行われていない。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 大卒の水理技師はいるが、知識・経験ともに不足しているため、必要な灌漑スキームの調査や設計を実施することが困難となっている。現在の局長が他州に派遣された農業土木隊員の活動について知り、今回の要請となった。

2) 期待される具体的業務内容
 国内自給率を高め貧困削減に貢献するため、農業課スタッフと共に、下記活動を行いながら州内農産物の生産向上を図る。
 1. 農業用地の調査
 2. 灌漑計画の策定
 3. 灌漑工事の実施
 4. 灌漑設備の保守管理に係る技術指導

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 4WD車両(農業課全体)

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 局長(大卒 50歳代 女性)
 農業課課長(大卒 17年経験 男性)
 水理技師(大卒 5年経験 男性)

5) 業務使用言語
 ● ポルトガル語
 ()
 ○ ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル: C)
 (レベル:)

条件(資格、免許、性別)及びその理由

・学歴 大卒 土木工学

性別理由:
 学歴理由: 同僚と同等の学歴
 経験理由:
 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域況 気候(サバナ) 気温(15-40℃位) 電気安定 不安定 なし
 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道安定 不安定 なし

平成 22 年度春 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 21 年 7 月 1 日

要請番号(SL 303 - 10 - C - 06)

調査者名: 木田 克人

国名	職種/指導科目 (コード 1202)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
アルゼンチン	職種 農業機械	●新規 ○交替 代目	○2年 ●1年 ○ヶ月	1	22 / 4
	指導科目 農業機械試験・規格化			2	/
	職種(英) Agricultural Machinery 指導科目(英) Exam/Normalsation of Agri Machinery			3	/
				年 月 日から	

プログラム番号・名: 中小企業プログラム
 プロジェクト名:

1) 受入省庁名(日本語) 国立工業技術院
 (受入機関名)(英語) National Institute of Industrial Technology (INTI)

2) 配属先名 (日本語) 国立工業技術院ロサリオセンター
 (英語) National Institute of Industrial Technology-Rosario

3) 任地 サンタフェ州ロサリオ市
 首都(ブエノスアイレス市)から 北西 方向 300 Km
 主要都市(ロサリオ市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 当国政府は、農業機械部門(約600社)を輸出ポテンシャルの高い部門として位置で付け、同部門の競争力強化に向けた支援策を講じている。農業機械工場の約40%が存在するサンタフェ州にある配属先は、2008年4月から「アルゼンチン農業機械製造業者・生産性の再編成」と題し研究を続けており、2009年、農業機械製造業者の「ニース」を把握し、助言するグループを形成をした。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 農業機械に対する公的機関による統一的な検査・評価体制が未整備であり、農業機械の品質・性能に対する保証措置が取られていないため、SVには、アルゼンチン農業製造業者の現在の能力を判定し、農業機械の保証に関する検査方法及び評価基準の策定、適用に向けたアクションプランの作成を期待している。

2) 期待される具体的業務内容
 ・ INTIと外部機関の能力の連結を図り、検査方法及び評価基準を策定し、農業機械保証システムを構築する
 ・ 現行の国内・国際基準に沿い、ユーザーのニーズを満たすような保証システムを構築する
 ・ 効率性、省エネ、環境保全の観点に合った、農業機械の製造を促進する
 ・ 研修、技術移転、調査、製造工程における開発を通じて農業機器製造業者の競争力を高める

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 ノートブック型パソコン、カメラ

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 機械技師、60代、男性 電気機械技師、40代、男性 機械技師、食品専門家、30代、男性	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) ☑ スペイン語 (レベル: B)
---	--------------------------------------	--

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由
 ・ 学歴 大卒 機械工学
 ・ 農業機器製造実務経験
 性別理由:
 学歴理由: 指導対象者の技術・知識レベルに対応
 経験理由: 指導対象者の技術・知識レベルに対応
 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性
 ○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車

研修等 形態 現職教員特別参加制度

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域
 気候(温暖) 気温(0 ~30℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度春 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 1 月 6 日

要請番号(SL 060 - 10- C - 04)

調査者名: 小澤重久

国名	職種/指導科目 (コード 1402)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ネパール	職種 家畜飼育	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 3
	指導科目 凍結精液製造			2	22 / 4
	職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英) frozen semen production			3	/

プログラム番号・名 0600000000010 プロジェクト名 農業収入向上プログラム
農業農村開発プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 農業・協同組合省
(受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Cooperatives

2) 配属先名 (日本語) 畜産局 家畜改良センター
(英語) National Livestock Breeding Center, Department of Livestock Services

3) 任地 カスキ郡ボカラ市
首都(カトマンズ)から 西 方向 200 Km
主要都市(カトマンズ)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
配属先は同国唯一の家畜改良機関で、58年に首都に設立され、01年にADBローンにより現在地に移転した。国内2か所に支所を持ち、家畜改良を目的とした人工授精用凍結精液の生産及び配布を行っている。年間予算は約1,440万円で、これまで畜産局への専門家派遣のほか協力隊数名の派遣実績がある。日本のODAにより、液体窒素プラントも供与されており、さらに2009年度に新しい自動精液充填機も導入された。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
配属先は現在、全国的に人工授精による家畜改良プロジェクトを実施している。配属先が生産する凍結精液による人工授精実施数は毎年増加し、昨年度はウシ約6万頭、水牛約1万5千頭(全体に占める人工授精の割合は水牛でわずか数%、ウシは11%)で、今後も需要は伸びるものと思われるが、凍結精液製造-輸送-使用の過程の中で品質低下が課題となっている(受精率51%)。配属先は、凍結精液の製造、配布の他、併設する研修施設において全国の人工授精技術者や農民を対象にした研修も行っており、凍結精液の製造技術のみならず取り扱い技術を普及するためにも効果的であるため、今回の要請にいたった。

2) 期待される具体的業務内容
以下の配属先の活動に関して支援を行う：
1. 凍結精液の品質向上
2. 凍結精液の生産効率の強化
3. 人工授精技術者に対するトレーニングの実施

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
オートクレーブ、恒温器、分光光度計、ウォーターバス、クーリングチャンパー(FHK)、精液凍結器(FHK)、顕微鏡、自動精液充填機(IMV)、乾熱滅菌器2種、スライドウォーマー、インクジェットプリンタ等

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
畜産開発オフィサー(獣医師、男性)1名
テクニシャン(男性)2名
ジュニア・テクニシャン(男性)2名

5) 業務使用言語
● 英語
()
○ ()

6) 選考指定言語
☑ 英語 (レベル: B)
□ (レベル:)

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由：
学歴理由：専門知識が必要なため
経験理由：実践的指導が必要なため
理由：
理由：

・学歴 大卒 獣医学
・経験 実務経験 5年以上

活動用交通手段の必要性 研修等 形態 現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車

* 研修等(H:障がい者施設研修、A エイズ配慮研修 a. エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N: NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎ 現職教員特別参加制度での派遣が可能、× 現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域 気候(亜熱帯) 気温(6-31℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 21 年 12 月 18 日

要請番号(SL 469 - 10 - C - 02)

調査者名: 瀧田 弥生

国名	職種/指導科目 (コード 1402)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
モロッコ	職種 家畜飼育	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	22 / 3
	指導科目 分子遺伝学			2	22 / 4
	職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英) Molecular genetics			3	/

プログラム番号・名 4690000000008 プロジェクト名
社会開発プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業・漁業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Maritime Fisheries
	2) 配属先名 (日本語) タンジェ農学研究所 (英語) Regional Agricultural Research Center of Tangier
	3) 任地 タンジェ 首都(ラバト)から 北東 方向 200 Km 主要都市(ラバト)までの交通手段及び所要時間(バス で約 5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業・漁業省の管轄下、全国 10 か所ある国立農業研究所の 1 つ。モロッコ北部タンジェ・テトゥアン州には約 6 万 5 千頭(全国の 12%) の山羊が生息し、同州畜産収入の約 6 割を占めるが、山羊肉・山羊乳の 1 頭当たり年間生産量、流通量とも低いことが課題。2020 年までの農業政策「Plan Maroc Vert」の下、同州 INRA は畜産業の生産性・収益向上に取り組む。2004 年から SV (家畜飼育) 1 名派遣あり。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同農業政策の下、同州 INRA は 2009 年から 3 年間で家畜農業への基礎知識の普及、遊牧畜産のための地元飼料作物の有効活用、山羊の原生種の特徴把握・育種改良、山羊再生産のための最新技術の導入、チーズ等加工品開発という 5 つの目標を設定、所長含む研究者 8 名及び技術者 2 名から成る研究チームが取り組んでいる。分子遺伝学的手法について研究者の専門性が不十分なため、研究を支援できる SV の派遣が要請された。		
	2) 期待される具体的業務内容 SV は同州 INRA の取り組む 5 分野の研究のうち、分子遺伝学的手法を必要とする次の 3 分野の何れかについて、同州 INRA の所有する実験機材の使用法はじめ、それぞれの研究者に対する必要な知識の提供・助言を行う。 1. 山羊の原生種の特徴把握・育種改良 2. スーラ(地中海沿岸の飼料作物)・ソルガム等の地元飼料作物の特徴把握 3. 山羊乳チーズの開発に向けた土着の発酵菌の特徴把握		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 Microcentrifuge、UV Fluorescence Table、Dewer Flask、Horizontal Electrophoresis Tank 等		

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 所長 50 歳男性 動物生産研究調整役 40 歳男性 農学・食品業専門の研究者 20~50 歳代男性 6 名 農業技術者 50 歳代男性 2 名		5) 業務使用言語 ● フランス語 () ○ 英語 (可能)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ フランス語 (レベル: B)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・学歴 大卒 畜産学 ・経験 実務経験 10 年以上 性別理由: 学歴理由: 専門性が必要なため 経験理由: 研究経験が必要 理由: 理由:			

活動用交通手段の必要性		研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無	○車輦 ○単車 ○自転車			

* 研修等(H 障がい者施設研修、A・Eイズ配慮研修 a・Eイズ基礎講義) * 形態(P ボランティアプロジェクト、N・NGO)	
* 現職教員特別参加制度 (◎ 現職教員特別参加制度での派遣が可能、× 現職教員特別参加制度での派遣が不可能)	
概地 況域	気候(地中海性) 気温(5~35 °C位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 21 年 12 月 23 日

要請番号(SL 024 - 10- C- 02) 調査者名: 鈴木 幹一郎

国名	職種 / 指導科目 (コード 1403)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ラオス	職種 獣医・衛生 指導科目 家畜疾病診断	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	22 / 3
	職種(英) Veterinary Medicine and Hygiene 指導科目(英) Veterinary Diagnosis			2	/
	3			/	
				年 月 から	

プログラム番号・名 プロジェクト名
 食糧安全保障プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 農林省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Forestry

2) 配属先名 (日本語) 国立家畜衛生センター
 (英語) National Animal Health Center

3) 任地 ビエンチャン市
 首都(ビエンチャン市)から 北 方向 0 Km
 主要都市(ビエンチャン市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 配属先は、農林省畜産水産局傘下で家畜試験所を含め5つの部門から構成されている。同試験所には、細菌、血清、ウイルス、寄生虫、病理の5班があり、中央レベルの疾病診断、及び試験所がある5県を支援する役割を担っている。また、公衆衛生の観点から市場で売買、レストランで供される食肉の安全確保の役割も担っている。なお、ラオスはJICA広域技プロ「家畜疾病防除計画地域協力プロジェクト」の対象国ともなっている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 配属先は、外国ドナー等から機材、薬品等は供与されているが、それらを使いこなす技術がまだ十分ではない。このため、中央、及び地方試験所のスタッフの診断、分析能力を向上させるトレーニングも実施されている。トレーニングでは、効果的な疾病防御を容易にするために、疾病の診断、分析の正確性、及び迅速性に焦点を当てている。また、地方試験所のスタッフの能力は低いため、初歩的な診断技術レベルから中級レベル程度への向上を目指している。しかし、獣医師の資格制度が無く(海外留学での資格取得者は存在する)、獣医師に必要な知識、技術を教育する体制は整っていない。このため、配属先スタッフの能力向上を支援する要請がなされた。

2) 期待される具体的業務内容

1. 家畜試験所で、実践的なサンプル検査のトレーニングを通し、正確な診断技術を取得できるように指導する。
2. 細菌、人工授精班に焦点を当て、診断、分析能力の向上を支援する。
3. 大腸菌、クロストリジウム菌、サルモネラ菌、ブルセラ症、パスツレラ症に関する診断技術を指導する。
4. 家畜試験所で疾病診断に必要なサンプル収集を支援する。
5. 県試験所スタッフの能力向上に関するトレーニング等を計画し、支援する。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 急速冷凍庫、CO2培養器、孵卵器、PCRシステム、ELISAシステム、加圧滅菌器、セーフティキャビネット、顕微鏡、他検査に必要な機材は設置されている。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル センターの総スタッフ数35名 センター内の試験所には所長(52歳、女性)以下15名のスタッフで構成	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: A) □ (レベル:)
--	-----------------------------------	---

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由
 ・経験 実務経験 10年以上
 ・獣医師
 性別理由:
 学歴理由:
 経験理由: 経験の浅いスタッフを指導するため。
 理由: 疾病の診断・分析に関する指導のため。
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ○単車 ●自転車 ビエンチャン市内においては自転車通勤可能			

* 研修等(H 障がい者施設研修、A.エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P ボランティアプロジェクト、N-NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(亜熱帯) 気温(15-40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 況域 電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 22 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 1 月 4 日

要請番号(SL 027 - 10- C - 01)

調査者名: 大熊 裕司

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ベトナム	職種 獣医・衛生 (コード 1403) 指導科目 家畜衛生・飼養管理	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	22 / 3
	職種(英) Veterinary Medicine and Hygiene 指導科目(英) Animal Health and Husbandry			2	22 / 4
				3	/

プログラム番号・名 0270000000030 プロジェクト名
農業技術普及・地方インフラ整備等プログラム

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 農業農村開発省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Rural Development
	2)配属先名 (日本語) バビ牛・牧草研究センター (英語) Bavi Cattle and Forage Research Center
	3)任地 ハノイ市バビ郡(旧ハタイ省) 首都(ハノイ)から 西 方向 60 Km 主要都市(ハノイ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同センターでは乳牛、肉牛を対象に研究活動および農民や技術者を対象とした技術研修を実施している。また、センター傘下の酪農家(約140戸)の診療業務、飼養管理指導も行っている。同センターは、2006年4月から2011年4月まで実施中のJICAの技術協力プロジェクト「中小規模酪農生産技術改善計画」のプロジェクトサイトの一つとなっている。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ベトナムでは依然として農業が主要な産業となっているが、稲作に偏った営農のみでは農村地域における生計改善を図ることは困難であり、農業経営の多角化を図ることが重要な課題となっている。こうした背景の下、JICAはベトナム国からの要請に応じて、農業農村開発省国立畜産研究所を実施機関として「中小規模酪農生産技術改善計画プロジェクト」を実施中。国立畜産研究所と並んでプロジェクトの活動拠点となっている配属先では、酪農農家に対する指導が進んでいるものの、より現地に密着した支援を実現するため、今般シニア海外ボランティアを要請することとなった。		
	2)期待される具体的業務内容 - 対象地域の酪農農家(100軒以上)を巡回しながら、主に家畜衛生および飼養管理指導を行う。また巡回指導を通じて、配属先スタッフを育成する。 - 配属先スタッフに対して診断技術の向上を目的とした指導(主に繁殖障害と乳房炎対策に関する)を行なう。		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 乳牛診療用機器(体温計、聴診器、滅菌器、培養器、削蹄機、乳質検査機、超音波診断機など)		

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由: 学歴理由: 経験理由:業務上必須 理由:業務上必須 理由:
	・経験 実務経験 10年以上 ・獣医師	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

配属先には技術協力プロジェクトで供与した車両がある。

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(亜熱帯) 気温(10~35℃位)	電気(□安定 ☒不安定 □なし)
	電話(☒インターネット可 ☒通話可 □不良 □なし)	水道(☒安定 □不安定 □なし)



平成 22 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 2 月 4 日

要請番号(SL 045 - 10- C - 09)

調査者名: 荒井 順一

国名	職種/指導科目 (コード 1403)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
モンゴル	職種 獣医・衛生	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 3
	指導科目 家畜非感染症			2	22 / 4
	職種(英) Veterinary Medicine and Hygiene 指導科目(英) Veterinary Non-infections Disease			3	/

プログラム番号・名 0450000000006 プロジェクト名
 農牧業経営・家畜感染症予防プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 食糧・農牧業・軽工業省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Food, Agriculture and Light Industry

2) 配属先名 (日本語) 獣医学研究所
 (英語) Institute of Veterinary Medicine

3) 任地 ウランバートル
 首都(ウランバートル)から 北 方向 0 Km
 主要都市(ウランバートル)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 同研究所は家畜感染症・非感染症・寄生虫病を研究し、その診断・予防・治療法を生み出し、家畜の健康のため新治療薬の製造技術の改良・新技術の開発を行っている。1997年より5年間、家畜感染症診断技術向上を目指しJICA技術協力プロジェクトが行われ、その後2年間専門家が派遣されフォローアップもなされた。また2006年から2年間獣医師のボランティアが派遣され、地方での研修を行った。年間予算は約2千5百万円。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 初代シニア海外ボランティアは家畜感染症診断技術を向上させ、現地職員研修を通して地方への診断技術の定着に貢献した。この研究所には薬理学・毒性学ラボがあり、薬草からの家畜用薬品の発見、毒草植物による家畜の病気について研究を行っているが、近年毒草や天然殺虫剤が含まれる家畜の原材料・製品による中毒が食品の安全検査で問題となっていることから、今回は家畜非感染症分野で薬理学・毒性学の経験のあるボランティアの要請に至った。

2) 期待される具体的業務内容
 家畜薬理学及び毒性学の分野で研究所職員と以下の項目につき共同研究をし、アドバイスをを行う。
 1. 家畜毒素診断及びその予防
 2. 家畜風土病診断及びその予防
 3. 家畜によく発生する無機栄養不足分の検査、調査とその診断・予防

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 Evaporator, Ultracentrifuge(12000rpm), Water distillatory, Autoclave, Incubator, Microscope等

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 研究所長 男性、40歳代
 同僚4人 男性3人(30~50歳代)、女性1人(40歳代)

5) 業務使用言語
 ● モンゴル語
 ()
 ○ 英語
 ()

6) 選考指定言語
 英語 (V/L: A)
 (V/L:)

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由
 性別理由:
 学歴理由:
 経験理由: 研究及び指導に必要
 理由: 研究及び指導に必要
 理由: 研究及び指導に必要

・経験 実務経験 3年以上
 ・家畜毒素病診断
 ・獣医師

活動用交通手段の必要性
 有 無 車輜 単車 自転車

研修等 形態 現職教員特別参加制度

* 研修等(H:障がい者施設研修, A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト, N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能, ×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(大陸性気候) 気温(-30~30℃位) 電気安定 不安定 なし)
 況域 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道安定 不安定 なし)



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄 受験番号

記入日:平成 22 年 2 月 4 日

要請番号(SL 045 - 10- C- 10) 調査者名: 荒井 順一

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
モンゴル	職種 獣医・衛生 (コード 1403) 指導科目 家畜用ワクチン生産	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	22 / 3
	職種(英) Veterinary Medicine and Hygiene 指導科目(英) Vaccine Production for Domestic Animals			2	22 / 4
				3	/

プログラム番号・名 0450000000006 プロジェクト名 農牧業経営・家畜感染症予防プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 食糧・農牧業・軽工業省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Food, Agriculture and Light Industry

2) 配属先名 (日本語) バイオコンビナート
 (英語) Biocombinat

3) 任地 ウランバートル
 首都(ウランバートル)から 北 方向 0 Km
 主要都市(ウランバートル)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 1923年に設立され、旧ソ連によって1973年まで運営された後、1990年まではハンガリー政府によって運営され、その後は国営企業となった。動物・家畜の様々な感染症を予防するためのワクチン開発・診断キットの開発などをしており(ヒトを含まず)、年間予算は約2億円。JICAボランティア受入経験はなく、他国援助もない。日本競馬協会で1年間の研修を受けたスタッフやロシアで研修経験がある者などがある。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 放牧業が盛んなモンゴルでは、家畜の感染症等の予防が重要である。当機関はワクチンや診断キットの開発などを行う機関であり、開発したワクチンや診断キットはすべて国に買い上げられ、国から遊牧民に無料配布されるため、予算は独立採算制ではなく国の財政に頼っている。また機材はハンガリー時代のものが多く、制約の多い中で研究・開発を続けている。今回、最新技術の移転やワクチン製造技術の向上を目指してボランティア要請が挙げられた。

2) 期待される具体的業務内容
 下記製造方法、精製方法等につき指導する。
 1. 細胞(特に細胞株)培養技術を用いた抗ウイルスワクチン製造方法
 2. 細菌の不活性ワクチン精製(限外濾過処理)方法
 3. 抗血清中の免疫グロブリン分離精製方法
 4. 不活性ワクチン生産にホルマリンに代わる安全な不活化剤を用いる方法
 5. 不活化ワクチンに油中水型アジュバントを添加する方法

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 Fermentors, Ultrafiltration, Deep freezer など多数。多くはハンガリー時代のもの。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 カウンターパートとなるのは25歳~40歳までの常勤スタッフ(学士か修士)5名。2年から20年の経験をもつ。

5) 業務使用言語
 ● モンゴル語 ()
 ○ 英語 ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル: B)
 (レベル:)

条件(資格、免許、性別)及びその理由

・学歴 修士 業務関連分野 性別理由:
 学歴理由: 指導に不可欠である
 経験理由:
 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性 研修等 形態 現職教員特別参加制度
 ○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車

* 研修等(H:障がい者施設研修, A:エイズ配慮研修 a.エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト, N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能, ×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(大陸性気候) 気温(-30~30℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 22 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(JV 日青 SV 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 2 月 5 日

要請番号(SL 306 - 10- C- 06)

調査者名: 石井 静

国名	職種 / 指導科目 (コード 1403)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ボリビア	職種 獣医・衛生	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	22 / 3	年 月 から
	指導科目 ウイルス学			2	22 / 4	
	職種(英) Veterinary Medicine and Hygiene 指導科目(英) Virology			3	/	

プログラム番号・名 3060000000002 プロジェクト名 小規模農家の貧困削減

配属先概要

1) 受入省庁名(日本語) 教育省
(受入機関名)(英語) Ministry of Education

2) 配属先名 (日本語) ガブリエル・レネ・モレノ大学獣医学部
(英語) Gabriel Rene Moreno University, Faculty of Veterinary

3) 任地 サンタクルス県サンタクルス
首都(ラパス市)から 南東 方向 857 Km
主要都市(サンタクルス市内)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
国立ガブリエル・レネ・モレノ自治大学は1880年に創立され、12学部49学科、3万人以上が学ぶ総合大学である。キャンパスはボリビア第二の都市サンタクルス市にある。獣医学部の年間予算は約9万米ドル。

要請概要

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
同大学の獣医学部をカウンターパート機関として、現在(2005年8月~2010年7月)、技術協力プロジェクト「広域協力を通じた南米南部家畜衛生改善のための人材育成プロジェクト」が実施されている。ボ国は狂犬病に関する「ELISA及びリアルタイムPCRラボ診断を利用した狂犬病実地疫学調査」を実施しており、アルゼンチンから第三国専門家の指導の下、病理学に関する技術向上が図られ、狂犬病診断陽性犬データの時空間疫学解析に係るLIDIVETの成果がでてきた。しかし未だ狂犬病の確定診断法を十分にマスターできていないため、プロジェクト終了後も引き続き専門的技術指導が必要となり、本要請に至った。

2) 期待される具体的業務内容
若手獣医を対象に以下に関する指導を行う。
1. ELISA及びPCR(特にPCR)等を利用した検査・診断方法の指導及び支援
2. ウイルスに関する知識向上のための支援

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
ELISA、RT-PCR、オートクレーブ、紫外線顕微鏡、分注器、自動切片作成機、プロジェクター、コピー機等

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
プロジェクトコーディネータ: 1名、検査室臨床医: 1名、同僚: 4名(獣医)

5) 業務使用言語
● スペイン語
()
○ ()

6) 選考指定言語
☑ 英語 (レベル: B)
□ スペイン語 (レベル: C)

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

・学歴 大卒 業務関連分野 性別理由:
・経験 実務経験 10年以上 学歴理由: 指導対象者の学歴にあわせる必要がある
経験理由: 業務遂行上必要
理由:
理由:

活動用交通手段の必要性 研修等 形態 現職教員特別参加制度

有 無 車輛 単車 自転車

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(亜熱帯) 気温(9~35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 21 年 12 月 18 日

要請番号(SL 106 - 10 - C - 01)

調査者名: 佐藤幸雄

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
フィジー	職種 漁業共同組合 (コード 1502)	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 3
	指導科目 水産物流通改善			2	22 / 4
	職種(英) Fishermen's Co-operatives 指導科目(英) Fishery Products Distribution Adviser			3	/
年 月 日から					

プログラム番号・名 1060000000003 プロジェクト名 水産資源利活用

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 一次産業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Primary Industries
	2)配属先名 (日本語) 水産局西部地域事務所 (英語) Fisheries Department, Western Division Office
	3)任地 ラウトカ 首都(スバ)から 西 方向 210 Km 主要都市(スバ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 西部地域事務所はラウトカ、ヤサワ、ナンディ、マロロ地域の漁業管理、資源保全、流通促進、財政・技術サービス、開発支援等、水産行政全般を総括している。同事務所下に、更に四つの地区水産事務所(タブア、バ、ラキラキ、シンガトカ)があり、それぞれの事務所は小さいながらも製氷室をもち少人数で運営されている。孵化上場有する。外国の援助は入っていない。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) フィジーは300以上の島からなる水産資源に恵まれた国であり、西部事務所のあるラウトカ漁港は日本の無償資金協力で1987年に完成した。水産物の流通市場整備が不十分なことと、漁業組合が機能していないことから有益な販売手段が見つからず、流通は仲買に依存せざるを得ない現状である。また、既存市場及び仲買はホテル・レストラン等の品質と安定供給を必要とする需要には応えきれない。このような状況から、西部地域における水産物の市場流通体制の整備、漁業組合の活性化を期待してボランティア要請に至った。		
	2)期待される具体的業務内容 ボランティアは事務所長アドバイザーとして、ラウトカ漁港の運営管理に関する提案やその実践が期待されている。具体的には、以下の事項が期待されている。 ・漁業共同組合の設立など、ラウトカ漁港の管理運営に関するアドバイス。 ・漁業共同組合の設立のための具体策を策定する。 ・販売、資源管理等の観点から、組合員への裨益効果の高い組合強化策を検討する。 ・西部地域における水産物の市場流通体制を調査し、分析する。 ・漁業従事者に有益な流通販売体制を構築する。		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし。		
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 所長 職員8人(全て男性、30歳代-50歳代、統計1、ライセンス普及員4、製氷機管理1、作業船エンジニア1、作業船船長1)、事務職員3人、警備2人(全男性、30歳代)	5)業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		性別理由:
	・学歴 大卒	業務関連分野 15年以上	学歴理由: 水産学系:専門知識が必要 経験理由: 経験に基づく実践的技術が必要 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

* 研修等(H 障がい者施設研修、A エイズ配慮研修 a エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地況域 気候(熱帯海洋性気候) 気温(16-35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)



平成 22 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期 (JV 日青 SV 日SV)

短期 (JVA JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 1 月 4 日

要請番号 (SL 227 - 10 - C - 01)

調査者名: 川上 哲也

国名	職種 / 指導科目 (コード 1502)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
エルサルバドル	職種 漁業共同組合	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1	22 / 3	年 月 から
	指導科目 零細漁村開発			2	22 / 4	
	職種 (英) Fishermen's Co-operatives 指導科目 (英) Development of Fishermen's Community			3	/	

プログラム番号・名 2270000000001 プロジェクト名 東部地域開発

1) 受入省庁名 (日本語) 農牧省
(受入機関名) (英語) The Ministry of Agriculture and Livestock

2) 配属先名 (日本語) 水産局
(英語) General Direction of Fishery and Farming

3) 任地 ラ・リベルタ県サンタ・テクラ市
首都 (サンサルバドル) から 北西 方向 10 Km
主要都市 (サンサルバドル) までの交通手段及び所要時間 (バス で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況 (含むJICA専門家、ボランティア)
農牧省水産管轄機関で海岸部に合計4か所の地域事務所、さらにエル・ティグラー、貝類の計5か所の種苗生産場を有する。2008年度予算は、国家予算1,355,480米ドル、自己収入源439,546米ドル。2001年からJICA技プロ、06-08年村落開発隊員、台湾がエル・ティグラー種苗生産及び養殖協力、スペインが水産物集荷センター建設、FAOが水産物流通改善プロジェクト実施中。

1) 要請理由・前任者の活動状況 (プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
2010年1月にエ国「貝類増養殖開発計画」プロジェクト (以下「貝プロ」) が終了予定である。「貝プロ」では漁民の生計向上モデルが作成される見込みであるが、モデルを普及する体制はまだ整備されておらず、その構築が望まれている。また、流通販売システムの改善も必要である。現在、Usulután市役所に村落開発隊員を配属し、アカガイ類の養殖普及や販売促進にかかわる活動を開始した。また、ヒキリスコ湾アカガイ養殖及びフォンセカ湾マガキ養殖普及でそれぞれ1名ずつの村落開発隊員の要請がなされた。これら隊員との連携を図り、上記普及体制あるいは流通改善システムに取り組むために経験豊富なSVの派遣が求められる。

2) 期待される具体的業務内容
1. エ国水産開発局、政府普及機関、各市役所、NGOなどの普及体制構築を支援するとともに、これら関係機関の相互協力・連携を推進する
2. 「貝プロ」で作成された生計向上モデルを零細漁民・採貝者に普及させるために派遣される「村落開発」協力隊員に対し、漁村開発にかかる全般的な助言と指導を行うとともに、零細貝類養殖グループにより便益をもたらす流通販売システムの構築に協力する
3. 貝類増養殖分野の普及員養成を目的に、水産開発局が中心となって実施予定の国内研修及び域内研修の計画・実施・モニタリングに関する助言・指導

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
業務に必要な資機材・施設全一式

4) 配属先スタッフ・同僚 (男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル
国際協力担当 (女性)、地域事務所コーディネーター (男性)、養殖部コーディネーター (女性)

5) 業務使用言語
 スペイン語
()
 ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル: D)
 スペイン語 (レベル: B)

条件 (資格、免許、性別) 及びその理由

資格条件
・学歴 大卒
・経験 指導経験
・性別理由:
学歴理由: (水産学系) 実践的専門知識が必要
経験理由: 実践的技術が必要
理由:
理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 車輦 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車			

* 研修等 (H:障がい者施設研修, A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態 (P:ボランティアプロジェクト, N NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能, ×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候 (亜熱帯気候) 気温 (20-35℃位) 電気 (安定 不安定 なし)
況域 電話 (インターネット可 通話可 不良 なし) 水道 (安定 不安定 なし)

平成 22 年度 春 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 21 年 8 月 3 日

要請番号(SL 006 - 10 - C - 05)

調査者名: 池上 実

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
インドネ シア	職種 漁業生産 (コード 1802)	●新規 ○交替 1 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 3
	指導科目 水産教育			2	22 / 4
	職種(英) Fishery Production 指導科目(英) Marine and Fisheries Management Training			3	/

プログラム番号・名: インドネシア その他プログラム
 プロジェクト名:

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 海洋水産省 (受入機関名)(英語) Ministry of Marine Affairs and Fisheries
	2) 配属先名 (日本語) 海洋水産人材開発庁 海洋水産研修センター (英語) Marine and Fisheries Training Center
	3) 任地 ジャカルタ特別州 首都(ジャカルタ)から 東 方向 0 Km 主要都市(ジャカルタ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 当センターは1972年に設立された職員数480名(教官112名、事務職員368名)の組織であり、全国の6支所で水産業従事者、NGO及び地方自治体職員に対する技術研修を実施している。2007年度は、漁村民3531名、自治体職員1674名に対する研修及び教官に対するセミナーを8回実施した。センターには日本留学経験者、JICA研修員OBが複数いる。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) インドネシアは広大な漁業水域を有していることから、漁業開発の余地が大きいので、より効果的な人材育成を目的とした研修内容の見直しが求められている。技術水準の高い日本の水産研修システムを導入することにより、人材育成水準向上を目的として、今回のSV要請となった。	
	2) 期待される具体的業務内容 水産業全般に関する、 1. 現行の研修課程(カリキュラム、テキスト、シラバス、水準、時間数、教材等)の評価・分析 2. 研修運営システムの評価・分析 3. 施設・設備の評価・分析 4. 改善策提案	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン、コピー機、プリンター等	

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	・性別 男性 性別理由: 指導対象が男性であるため。 学歴理由: 全学歴者を対象に指導を行うために必須 経験理由: 実践的知識と技術が必要 理由: 理由:
	・学歴 大卒 ・経験 実務経験 5年以上 ・教育または研修機関での実務経験	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、× 現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地況域 気候(熱帯雨林) 気温(25~30℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 22 年度春 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 2 月 8 日

要請番号(SL 475 - 10- C - 12)

調査者名: 伊藤、池内

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
チュニジア	職種 漁業生産 (コード 1802)	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 3
	指導科目 漁業計器操作			2	22 / 4
	職種(英) Fishery Production			3	/
ア	指導科目(英) Manipulation of Sonar				日系/短期等 年 月 から

プログラム番号・名 産業競争力強化プログラム
 プロジェクト名

1) 受入省庁名(日本語) 農業・水資源省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Water Resources

2) 配属先名 (日本語) 水産専門訓練センター マハディア校
 (英語) Fisheries Professional Training Center of Mahdia

3) 任地 マハディア
 首都(チュニス)から 南 方向 240 Km
 主要都市(チュニス)までの交通手段及び所要時間(鉄道 で約 3 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 農業研修普及庁(Agricultural Training and Extension Agency, AVFA)が管轄する訓練センターで1966年設立。漁民の研修と漁船員、漁船機関士育成を目的としたチュニジアの中心的機関として貢献している。日本の水産無償援助により漁業練習船供与、訓練施設拡充、専門家派遣、チュニジア人指導教官の本邦研修の実績あり。JICA第三国研修の受入実施機関。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 搭載ソナー(多くは日本製)の映像判読技術水準が低いため、熟練した技術者の要請が求められている。ソナー搭載漁船が増加しており、その的確な操作、映像分析技術の向上は漁業の省エネ化にも繋がるため、日本の高い技術が期待されている。

2) 期待される具体的業務内容
 教員、生徒、及び漁民、船員を対象とした研修、助言指導を行なう。
 (1) ソナーシミュレーター訓練において、指導教官に魚種・魚群密度等判読の技術を助言する。
 (2) 生徒、研修員に対してソナーの操作・映像判読技術を指導する。
 (3) 訓練機材を有効に利用することにより訓練効果を上げる。
 (4) その他漁船機器の授業を通して生徒、研修員に指導する。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 電気系統実習室、航海計器実習室、実習船など。魚群探知機(Echo Sounder)、ソナー(Sonar)は主に古野電気製

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 校長: 50歳代
 指導員: 14名(40歳代~50歳代)
 学生: 56名(18歳~25歳)
 研修生: 漁民、船員

5) 業務使用言語
 ● フランス語
 ()
 ○ 英語
 ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル: A)
 (レベル:)

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由
 性別理由:
 学歴理由:
 経験理由: 実務経験 10年以上 実践的な技術が必要なため
 理由: 生徒、研修員への指導があるため
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(地中海性気候) 気温(10℃から45℃位) 電気安定 不安定 なし
 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道安定 不安定 なし

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 22 年 2 月 8 日

要請番号(SL 475 - 10- C - 13)		調査者名: 伊藤、池内		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期 JOCV/SV 日系/短期等
チュニジア	職種 漁業生産 (コード 1802) 指導科目 漁船機器保守(ケリビア)	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1 22 / 3
	職種(英) Fishery Production 指導科目(英) Manipulation of Fishing Equipment			2 22 / 4
				3 / / 年 月 から
プログラム番号・名 産業競争力強化プログラム		プロジェクト名		
配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 農業・水資源省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Water Resources			
	2) 配属先名 (日本語) 水産専門訓練センター ケリビア校 (英語) Fisheries Professional Training Center of Kelibia			
	3) 任地 ケリビア 首都(チュニス)から 南東 方向 120 Km 主要都市(チュニス)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業研修普及庁(Agricultural Training and Extension Agency, AVFA)が管轄する訓練センターで1964年設立。2年課程の約160名の生徒を受入。漁船機関士と船大工育成コースがある。機関士免許保持者の研修、他のアフリカ諸国のための第3国研修を行っている。フランス開発庁(AFD)による機材供与の実績あり。			
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 搭載ソナー(多くは日本製)の映像判読技術水準が低いため、熟練した技術者の要請が求められている。ソナー搭載漁船が増加しており、その的確な操作、映像分析技術の向上は漁業の省エネ化にも繋がるため、日本の高い技術が期待されている。また、船舶の海難事故やガベス湾での底引き網漁によって資源が枯渇しているため、資源保全、環境、安全教育が求められている。			
	2) 期待される具体的業務内容 生徒、及び既存の漁民、船員、指導教官を対象とした研修、助言指導を行なう。 (1) 生徒、研修員、指導教官に魚種・魚群密度等判読の技術を助言する。 (2) 各種実習機器を有効に利用することにより訓練効果をあげる。 (3) 電気機器関連あるいはエンジン、油圧関連の実習を通して、学生、研修員に指導する。 (4) 船舶の安全、資源・環境保全に関する啓発教育もできればなお望ましい。			
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 漁船エンジン実習室、電気系統実習室、航海計器実習室、実習船など。 魚群探知機(Echo Sounder)、ソナー(Sonar)は主に古野電気製			
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長: 50歳代 指導員: 14名(40歳代~50歳代) 学生: 56名(18歳~25歳) 研修生: 漁民、船員		5) 業務使用言語 ● フランス語 () ○ 英語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: A) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 性別理由: 学歴理由: 経験理由: 実践的な技術が必要なため 理由: 生徒、研修員への指導があるため 理由:			
活動用交通手段の必要性		研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車				
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)				
概地況	気候(地中海性気候) 気温(10℃から45℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)	
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)			



平成 22 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期 (JV 日青 SV 日SV)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 2 月 8 日

要請番号 (SL 475 - 10 - C - 14)	調査者名: 伊藤、池内
-------------------------------	-------------

国名	職種 / 指導科目 (コード 1802)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
チュニジア	職種 漁業生産	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	22 / 3
	指導科目 漁船機器保守(スファックス)			2	22 / 4
	職種(英) Fishery Production 指導科目(英) Manipulation of Fishing Equipment			3	/

プログラム番号・名 産業競争力強化プログラム	プロジェクト名
---------------------------	---------

1) 受入省庁名 (日本語) 農業・水資源省
(受入機関名) (英語) Ministry of Agriculture and Water Resources

2) 配属先名 (日本語) 水産専門訓練センター スファックス校
(英語) Fisheries Professional Training Center of SFAX

3) 任地 スファックス
首都 (チュニス) から 南東 方向 240 Km
主要都市 (チュニス) までの交通手段及び所要時間 (鉄道 で約 4 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況 (含むJICA専門家、ボランティア)
農業研修普及庁 (Agricultural Training and Extension Agency) が管轄する訓練センターで 1975 年設立。チュニジア最大の漁港を抱え漁業従事者の育成と中小漁業者の研修を目的としている。18~25歳の学生 82名が在籍、修業年限 2 年。指導員 7 名。漁船機関士と遠洋漁船船長養成の 2 コースがある。現校長は JICA 水産専門家の CP として、また日本での研修経験もあり。

1) 要請理由・前任者の活動状況 (プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
搭載ソナー (多くは日本製) の映像判読技術水準が低いため、熟練した技術者の要請が求められている。ソナー搭載漁船が増加しており、その的確な操作、映像分析技術の向上は漁業の省エネ化にも繋がるため、日本の高い技術が期待されている。また、船舶の海難事故やガベス湾での底引き網漁によって資源が枯渇しているため、資源保全、環境、安全教育が求められている。

2) 期待される具体的業務内容
生徒、既存の漁民、船員、指導教官を対象とした研修、助言を行なう。
(1) 生徒、研修員、指導教官に対して、魚種・魚群密度等判読技術の技術を助言する。
(2) 各種実習機器を有効に利用することにより訓練効果を上げる。
(3) 水産工学の先端技術の紹介、漁業に関する日本の技術、船舶エンジン、油圧機器、機械系統、電気系統の維持管理に関する技術の提供
・ 船舶の安全、資源・環境保全に関する啓発教育

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
漁船エンジン実習室、電気系統実習室、航海計器実習室、実習船など。

4) 配属先スタッフ・同僚 (男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル
校長: 50 歳代
指導員: 14 名 (40 歳代~50 歳代)
学生: 56 名 (18 歳~25 歳)
研修生: 漁民、船員

5) 業務使用言語
◎ フランス語
()
○ 英語
()

6) 選考指定言語
☑ 英語 (レベル: A)
☐ (レベル:)

条件 (資格、免許、性別) 及びその理由

性別理由:
学歴理由:
経験理由: 実践的な科学技術が必要なため
理由: 生徒、研修員を対象とする指導であるため
理由:

・ 経験 実務経験 10 年以上
・ (指導経験があると望ましい)

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○ 有 ◎ 無 ○ 車輜 ○ 単車 ○ 自転車			

* 研修等 (H 障がい者施設研修、A・Eイズ配慮研修 a: Eイズ基礎講義) * 形態 (P: ボランティアプロジェクト、N NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎: 現職教員特別参加制度での派遣が可能、×: 現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候 (地中海性気候) 気温 (10℃ から 45℃ 位) 電気 (☑ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)
 況域 電話 (☑ インターネット可 ☑ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道 (☑ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)

平成 22 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 17 日

要請番号(SL 630 - 10- C- 04)		調査者名: 高橋正敏		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期
モザン ビーク	職種 漁業生産 (コード 1802)	● 新規 ○ 交替 1 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV
	指導科目 漁船運用技術			1 22 / 3
	職種(英) Fishery Production			2 22 / 4
	指導科目(英) Fishing Boat Manipulation		3 /	日系/短期等 年 月 から

プログラム番号・名 _____ プロジェクト名 _____

配属先概要

1) 受入省庁名(日本語) 水産省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Fishery

2) 配属先名 (日本語) マトーラ水産学校
 (英語) Matola Fisheries School

3) 任地 マプト州マトーラ市
 首都(マプト)から 西 方向 16 Km
 主要都市(マプト)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 漁業従事者を育成する公立水産学校。初等教育修了者向けの基礎課程3年と前期中等教育修了者向けの中級課程2年の二つの課程があり、卒業者には、それぞれ「前期中等教育終了・助手」及び「後期中等教育終了・技師」の資格が与えられる。基礎課程では「漁業技術コース」「機関士コース」、中級課程では「漁具・漁法コース」「小型船舶コース」「漁業会社経営コース」がある。生徒数約200名、教師数20名。学生寮あり。

要請概要

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 2006年12月より2009年3月まで海外漁業協力財団のマトーラ水産学校人材支援育成プロジェクトで専門家2名が配属され機材の寄贈、船舶の運用技術およびメンテナンスを指導していた。プロジェクト終了後、機材の管理、有効活用に引き続き支援を必要としている。また実習船が2隻あるが動かせる技術者がいないため、実習が出来ない状態にある。

2) 期待される具体的業務内容
 実習船を使った航海術、漁業実習の指導が求められる。
 (1) 小型船舶操船法
 (2) 漁業技術に関する実習(刺し網、延縄、立網など沿岸漁業全般の知識)

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 実習船2隻、GPS、レーダー、魚群探知機、無線機、網など

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 教員: 男性49歳、42歳 専門学校卒、
 生徒: 13歳~25歳

5) 業務使用言語
 ● ポルトガル語
 ()
 ○ ()

6) 選考指定言語
 英語 (V・M: D)
 スペイン語 (V・M: C)

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

・性別 男性 性別理由: 配属先の希望
 学歴理由:
 経験理由: 幅広い漁業知識が必要なため
 理由: 操船に必要なため
 理由: 配属先の車両を運転することがあるため

・経験 実務経験 5年以上

・小型船舶免許

・普通自動車免許

活動用交通手段の必要性

●有 ○無 ●車輦 ○単車 ○自転車

配属先の車両を運転することがあるため

研修等	形態	現職教員特別参加制度
-----	----	------------

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概況

気候(熱帯サバナ気候) 気温(15-35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)



平成 22 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 8 日

要請番号(SL 303 - 10 - C - 08)

調査者名: 山本 パトリシア

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
アルゼンチン	職種 養殖 (コード 1803) 指導科目 サケマス類の魚病	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ 月	1 22 / 4	年 月 から
	職種(英) Fish Culture 指導科目(英) Ichthyopathology of Salmon			2 /	
				3 /	

プログラム番号・名: 地域経済活性化
 プロジェクト名:

1) 受入省庁名(日本語) ネウケン州観光副庁
 (受入機関名)(英語) Subsecretary of Tourism of Neuquen

2) 配属先名 (日本語) ネウケン州生態応用センター(CEAN)
 (英語) Applied Ecology Centre of Neuquen Province

3) 任地 ネウケン州 フニン・デロス・アンデス市
 首都(ブエノスアイレス市)から 南西 方向 1600 Km
 主要都市(ネウケン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 本センターはネウケン州の動物資源の利用・保全とコントロールを推進する州政府の機関であり、応用研究、研修、技術支援と民間への技術移転を行っている。養殖業に関しては、魚病、栄養、遺伝学、水質などの研究を実施しており、ニジマス養殖に関する技術移転を実施している。ブライタウト、大西洋サモ、ペレリに関する研究も実施している。本センターはサケマス類の養殖振興を目的とした機関である。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 本産業の発展を限定する大きな理由は病気であり、死亡量により経済的な損害を及ぼすと共に治療などのコストを含めた高い生産物に仕上がる事となる。魚病部はJICAの技術協力により設立されて以来、天然の魚と養殖の個体の病気のコントロールと調査を計画的に実施し続けている。現在当国には国際獣疫事務局(OIE)に義務付けの通告する病気が発生していない地域であるため、養殖業の持続的な発展を目指すには魚病の研究とコントロール活動の強化が重要である。そのため本センターの魚病部の能力向上を目的としてSVの要請が提出された。

2) 期待される具体的業務内容
 CEAN魚病部の人材能力向上に向けた以下の活動を実施する
 - ネウケン州における養殖魚と天然魚の病気の研究・診断と治療に関する技術移転
 - ウイルス病診断に関する技術移転
 - 細菌・寄生虫病診断に関する技術移転
 - 地域の検疫管理の戦略計画立案への助言
 - 学術的な論文の共同作成

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の種類名・型式、設備等
 クリンパッチ、インキュベーター、オートクレーブ、フイザー、超純水装置、遠心機、蛍光顕微鏡、実体顕微鏡、天秤等

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル CEANスタッフは30名のうち19名が技術者。魚病部には30年代の男性2名が配置されている。	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ スペイン語 (レベル: B)
--	--------------------------------------	--

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

・学歴 大卒 獣医学
 ・経験 実務経験 15年以上
 ・サケマス魚病研究経験

性別理由:
 学歴理由:
 経験理由:
 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性

○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車

研修等 形態 現職教員特別参加制度

* 研修等(H 障がい者施設研修、A・Eイズ配慮研修 a: Eイズ基礎講義) * 形態(P: ボランティアプロジェクト、N: NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎: 現職教員特別参加制度での派遣が可能、×: 現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(温帯) 気温(-5 ~ 25 °C位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度春 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○BSV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 2 月 4 日

要請番号(SL 106 - 10- C - 04)

調査者名: 佐藤幸雄

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
フィジー	職種 水産物加工 (コード 1604)	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 水産物加工			1	22 / 3	年 月 から
	職種(英) Aquatic Products Processing			2	22 / 4	
指導科目(英) Post Harvest processing	3	/				

プログラム番号・名 プロジェクト名
地方・離島生計向上

1) 受入省庁名(日本語) 南太平洋大学
(受入機関名)(英語) The University of the South Pasific (USP)

2) 配属先名 (日本語) 南太平洋大学 海洋研究学部
(英語) Marine Sutadies Programme, the University of the South Pacific (USP)

3) 任地 スパ
首都(スパ)から 北 方向 0 Km
主要都市(スパ中心)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.1 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
当国に本部を置く南太平洋大学 (USP) は、1969年に地域島嶼国12カ国によって設立された国際機関である。域内最高水準の総合大学として、農学部・法学部・人文学部・科学学部・社会経済学部を開設している。海洋研究学部では、水産加工、養殖、資源管理、海洋生物等の水産及び海洋全般に関わる教育及び研究が行われている。しかし、講師陣の不足は否めず、講義及び実習内容の充実化等に支障を来している。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
1996年度無償資金協力「南太平洋大学海洋研究施設整備計画」により、海洋研究センター、ワークショップ等の施設建設、海洋調査機器、水産加工機材、養殖関連設備等の整備を行った。これにより、研究及び教育事情が改善され、同学部の域内位置付けは一層高まった。一方で、実施体制は、講師陣を中心に十分なものとはいえず、関連設備の有効活用はもとより、水産加工分野の教育・研究活動の活性化も困難な状況にある。特に水産食品の鮮度保持管理と安全性確保の問題については、緊急な課題となっている。よって、SVの前任者を引継ぎ、同学部の水産加工研究・教育機能の更なる強化のための指導協力を得たいとして要請が出されたものである。

2) 期待される具体的業務内容
1. フィジー国の漁民に適応し、付加価値(市場価値、保存面で)を高めることができるような、水産物加工の開発と普及を行う。
2. 水産局と連携し、漁民に対する水産物加工の技術研修会等を企画、開催する。
3. 水産科の学生に対して、水産加工の基礎や概念を、実習を含めて指導する。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
燻製品製造装置、乾燥機、ヒスタミン計、鮮度計、パソコン、冷蔵庫

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
スタッフは、日常的に講義、実習等を行っており、一定の知識、技術力はあるが、水産加工技術および食品化学分析技術に関しては乏しい。

5) 業務使用言語
● 英語
()
○ ()

6) 選考指定言語
☑ 英語 (レベル: B)
□ (レベル:)

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
学歴理由: 水産学系。大学での指導のため
経験理由: 実践的技術が必要なため
理由:
理由:

・学歴 大卒
・経験 実務経験 5年以上

活動用交通手段の必要性 研修等 形態 現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概況 気候(熱帯海洋性気候) 気温(15~35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

